SHARP®

取扱説明書

VTR一体型
DVDビデオレコーダー

形名 DV-RW100
（ディー ブイ アール ダブル）

2. 操作編

操作に入る前に別冊の取扱説明書
「1.接続・準備編」をご覧ください。

はじめに
すぐに使う
ディスクの再生
ビデオの再生
録画・予約録画
編集
他機をつないで行う操作
設定と調整
その他

SPATIALIZER®
N-2-2™

G-CODE® VHS HQ Hi-Fi

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。（1.接続・準備編 **3** ページ）
- この取扱説明書および別冊の取扱説明書「1.接続・準備編」は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前に試し録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やディスク、またはビデオテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク(海賊版など)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

録画防止機能について

別売のチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能(コピーガード)がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW(VRモード)は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。RW対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD-RWディスク(VRモード)、ビデオテープで必ず事前に試し録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やディスク、ビデオテープの不具合、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに付随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

つゆつきについて

次のような場合には、内部のピックアップレンズ、ドラム、ヘッド、またはディスク、ビデオテープにつゆ(水滴)がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと

ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。
また、ビデオの心臓部であるヘッドドラムに水滴が付き、ビデオテープが貼り付いてテープやヘッドを傷めてしまいます。

つゆをとるには

ディスク、ビデオテープを取り出して電源を入れておけば、約2時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。寒冷地区でのご使用の場合は特につゆつきにご注意ください。

おしらせ

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107(代)
FAX　03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

本機の特長

本機は、ビデオテープの再生や録画はもちろん、DVDディスクの再生、DVD-R、DVD-RWディスクを使った録画ができます。また、録画した番組などを編集して楽しむことができます。

■DVDの再生機能

映画館の臨場感・迫力のサラウンド

DVD-VIDEO

ドルビーデジタルやDTS対応のオーディオ機器につなぐと、臨場感にあふれた迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。

見たい場面をすぐに再生

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R

DVDはビデオテープのように巻戻しの必要がないため、見たい場面をすぐに頭出しして再生できます。見たい場面の検索機能も充実しています。

ディスクナビ

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R

ディスクナビを使えば、録画した映像(タイトル)もすぐに探し出せます。タイトルの映像の一部が一覧表示されるので、再生したいタイトルも一目で見つけて再生できます。

※ DVD-RW(ビデオモード)/DVD-Rのディスクは、ファイナライズを行うとディスクナビのかわりにタイトル一覧画面が表示されます。

■録画機能

タイマー予約録画

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R ビデオテープ

リモコンで日時やチャンネルを設定する通常のタイマー予約の他に、新聞などのテレビ番組欄に記載されている数字(Gコード番号)を入力するGコード®予約もできます。1年先までの8番組まで予約できます。

クイックタイマー

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R ビデオテープ

録画中に録画終了時刻を設定して録画できます。
急用で出かけるときや眠くなったとき、録画を延長するのに便利です。

ディスク予約録画

DVD-RW VRモード

ディスクに予約情報を設定できます。自分だけの専用ディスクを作りたいときや毎週放送のシリーズ番組などを1枚のディスクに録画するときに便利です。

ジャスト録画

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R ビデオテープ

ディスクまたはビデオテープの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りないときは、自動的に録画モードを調整して録画できるようにします。

外部自動録画

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R ビデオテープ

番組予約機能がある機器(デジタルBSチューナーやデジタルCSチューナーなど)と連動して、予約録画できます。

■編集機能

オリジナルの映像はそのままで編集

DVD-RW VRモード

実際に録画したオリジナルの映像(タイトル)には手を加えずに編集することができます。
オリジナルから編集用のタイトル(プレイリスト)を作成して、編集をすることができます。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク

DVD-RW VRモード

お気に入りの場面でチャプターを区切ることができます。チャプターサーチ機能で見たい場面を探すときに便利です。

シーン消去・移動・追加

DVD-RW VRモード

範囲を指定して場面を消去したり、タイトルを移動したり、オリジナルの場面をプレイリストに追加などして、お好みのプレイリストを作成できます。

編集(ダビング)

本機一台でビデオテープからディスクに、ディスクからビデオテープに、お好みに合わせて編集(ダビング)ができます。

※ 録画防止機能(コピーガード)のついたディスクやビデオテープを再生、録画した場合、録画防止機能の働きにより正常な録画ができません。

■互換性

他のDVDプレーヤーでも再生可能(ビデオモード)

DVD-RW ビデオモード DVD-R

ビデオモードで録画したディスクは、ファイナライズを行うと他のDVDプレーヤーでも再生できます。

※ DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによっては、DVD-R/RWを再生しないモデルがあります。

■他機との接続

デジタルビデオカメラとつなぐ

DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R

DV端子を持つデジタルビデオカメラで撮った映像を本機で見たり、編集、保存することができます。本機で録画した映像をデジタルビデオカメラに出力することもできます。

※DV入力の映像は、ビデオテープに録画することはできません。

もくじ

ページ

この取扱説明書の見かた

●本書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。リモコンと同じ名前の本体のボタンもリモコンと同じように使えます。

■本書で使われているマークについて

〈操作上のアドバイスマーク〉

ご注意 … 正しくお使いいただくためのご注意や、機能の制限事項です。

ヒント … 知っていると便利な情報です。

〈機能ごとのマーク〉

この取扱説明書では、次の記号を使っています。

DVD-VIDEO ……DVDビデオで使用できる機能

DVD-R ……DVD-Rで使用できる機能

DVD-RW VRモード …DVD-RWのVRモードで使用できる機能

VIDEO CD ……ビデオCDで使用できる機能
(CD-R/CD-RWのビデオCDフォーマット含む)

DVD-RW ビデオモード …DVD-RWのビデオモードで使用できる機能

CD …………音楽用CDで使用できる機能
(CD-R/CD-RWの音楽用CDフォーマット含む)

ビデオテープ ……ビデオテープで使用できる機能
※(ディスクの機能と混在している場合のみ記載)

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこり・タバコの煙の多い所。
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所。
- 熱器具の近くなど高温状態の所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキに近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

接続機器について

- 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

設置場所を変える、移動するときは

- ディスクやビデオテープを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクやビデオテープを入れたまま動かすと、ディスクやビデオテープを傷めることがあります。ディスクやビデオテープを取り出してから電源を「切」にしてください。
- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

音量について

音量を大きくしたまま再生すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれや聴力障害の原因となることがあります。ディスクやビデオテープを再生する前に、音量を必ず小さくしておいてください。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、近隣の家に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本体のお手入れについて

キャビネットやパネル面の汚れは、水でうすめた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

キャビネットやリモコンについて

キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。

クリーニングディスクについて

- 市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使用しないでください。故障するおそれがあります。
- レンズのクリーニングは、お買いあげの販売店またはシャープ修理相談センター（**130**ページ）にご依頼ください。

ヘッドクリーニングについて

ビデオヘッドは使用するにつれてしだいに汚れて、録画・再生機能が低下してきます。このような場合は市販のヘッドクリーニングテープ（乾式）のご使用をおすすめします。ヘッドクリーニングテープを使用しても効果がない場合のクリーニングは技術を要しますので、お買いあげの販売店またはシャープ修理相談センターにご相談ください。

ヘッド摩耗について

ビデオヘッドは、使用するにつれてしだいに摩耗します。ビデオヘッドが摩耗しますと、鮮明な映像が映らなくなることがあります。このような場合はビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買いあげの販売店またはシャープ修理相談センターにご相談ください。

電磁波妨害について

本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

節電について

使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

次ページへつづく

使用上のご注意(つづき)

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面、録画面に手を触れないように持ってください。
- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。
  (DVDのディスクでは、再生できなくなる場合があります。)

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像や音声の乱れの原因になります。また、録画が途中で止まってしまう場合があります。ディスクはいつもきれいにしておきましょう。
- ディスクの汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので使わないでください。

磁気について

本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたりすることや大切な記録が損なわれたりすることがあります。

本機のビデオ部について

- 本機のビデオはVHS方式の長時間ビデオです。
  VHSマークのついたビデオテープ以外は使用できません。
- 本機のEP(3倍)モードで録画したビデオテープは、標準モード専用VHS方式のビデオでは再生できません。

海外では使用できません

本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

ビデオテープ・ディスクの保存のしかた

- ケースの中に入れ、立てて保存してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けてください。

- ビデオテープの巻きとり状態にムラのある場合は、もう一度巻きなおしてください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところおよびカビの発生しやすいところは避けてください。

- ビデオテープに磁気(電気時計・磁石を使ったおもちゃなど)をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

再生できるディスクについて

■本機では再生できるディスクと再生できないディスクがあります。お手持ちのディスクを使用する前に必ずお読みください。なお、8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。

■本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

■ディスクレーベル面に下記のロゴマークが入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても画質・音質の保証は致しかねます。

ディスクの種類		
DVD ビデオ		DVD VIDEO
DVD-RW	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応	DVD RW
DVD-R	Ver.2.0	DVD R R4.7
ビデオ CD		VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽用 CD ※		COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/CD-RW	音楽用CDフォーマット ビデオCDフォーマット	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

DVDロゴは登録商標です。

※本製品は、CD(コンパクトディスク)規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。著作権保護を目的とした信号(コピーコントロール信号)の入ったCDは再生できない場合があります。

DVDビデオのリージョン番号について

DVDビデオには、リージョン番号(再生可能地域番号)が設けられています。本機のリージョン番号(再生可能地域番号)は「2」です。(リージョン番号が「2」または「2」を含む以外でも、「ALL」と表記されているディスクは再生できます。)

[リージョン番号 2 ALL]

ディスクの操作について

- DVDビデオは、ディスク制作者の意図により、いろいろな操作や機能が本書で説明している内容と違ったり、一部の操作を禁止している場合があります。
- 操作中「⊘この操作はできません」の表示が出たときは、ディスク側、あるいは本機での操作を禁止しております。ディスク側での操作の禁止については、ディスクの説明書も合わせてご覧ください。
- ディスクの再生中に、メニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは表示の内容に従って操作してください。

再生できないディスクについて

■次のディスク等は全く再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。
誤って再生された場合、大音量によってスピーカーを破損したり、聴力障害の原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、MP3ファイル形式のCD-R/CD-RWなど
DVD-ROM、DVD-RAM、DVD＋RW、DVDオーディオなど

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

DVD ビデオ	リージョン番号「2」、「ALL」が含まれていないディスク(正式な販売地域以外のディスク)
	PAL方式、SECAM方式のディスク(海外で製造されたディスク)※
	無許諾のディスク(海賊版のディスク)
	業務用のディスク

※ 本機はNTSC方式に適合した機器です。ディスクをご購入の際は、方式をご確認ください。

■CD-R/CD-RWでも、次のような場合は再生できないことがあります。

CD-R CD-RW	データが記録されていないディスクは、再生できません。
	ビデオCD／音楽CDフォーマット以外(MP3など)のフォーマットで記録されたディスクは、再生できません。
	ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。
	ディスクと本機の相性によっては、再生できません。
	•記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 •ファイナライズされていないディスクは再生できません。

■次のようなディスクも再生できません。
- 特殊な形(ハート形や六角形など)のディスク。
- 紙やラベル、シールなどが貼られたディスク。
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したり、はがしたあとのあるディスク。

このようなディスクは、故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

DVDディスクに表示されているマークについて

音声トラック数：音声トラック数や音声記録方式を表しています。

2 1:英　語(オリジナル)ドルビーデジタル･ドルビーサラウンド
2:日本語(吹　　替)ドルビーデジタル･5.1chサラウンド

画面サイズ：DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。

16:9 LB シネマスコープサイズ

字幕：字幕の種類を表しています。

2 1:日 本 語 字 幕
2:日本語吹替用字幕

収録時間：ディスク内に収録されている映画などの時間です。

約166分

リージョン番号：
リージョン番号(再生可能地域番号)を表しています。

録画できるディスクについて

■本機の録画にはDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。必ずディスクまたはディスクジャケットに「FOR VIDEO」あるいは「録画用」と記載されたディスクを使用してください。

■ディスクには指紋やほこり、特に傷などがつかないよう取扱いには十分注意して、大切に保存してください。傷などがつくと録画できなくなる場合があります。

本機では次のディスクで録画ができます。

ディスクの種類		
DVD-RW	Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応	DVD RW
DVD-R	Ver.2.0	DVD R R4.7

DVD-RWディスクについて

- 約1,000回くり返し録画することができます。
- Ver.1.0はVRモードでのみ録画できます。
- Ver.1.1はVRモード、ビデオモードのどちらかを選んで録画ができます。
- VRモードで録画した場合は、録画や消去をくり返すことができます。消去することにより録画可能な時間が増えます。
- ビデオモードで録画した場合は、ディスクが一杯になるまで追加録画できます。VRモードのように消去して録画時間を増やすことはできませんが、最後のタイトルを消去したときのみ増やすことができます。(ただし、ファイナライズを行ったディスクではタイトル消去ができません。)
- ビデオモードでも初期化することにより新たに録画をしなおすことができます。ただし初期化すると記録されていた内容はすべて消去されます。

DVD-Rディスクについて

- ビデオモードでのみ録画できます。
- ディスクが一杯になるまで追加録画できますが、タイトルを消去しても空き容量は増えません。(見えないようにするだけの消去になります。)
- ファイナライズを行うことにより他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。ただし、ファイナライズ後は録画や消去などができなくなります。
- ファイナライズするまでは本機のみにて追加録画、編集が可能です。

ご注意

- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証する機能ではありません。再生できないプレーヤーもあります。
- CD-R、CD-RWには記録できません。

記録フォーマットについて

本機で録画を行うときに使用するディスクの記録フォーマットには、「VRモード」と「ビデオモード」の2種類があります。

お買いあげの状態では、未使用のDVD-RW(Ver.1.1)ディスクをセットすると、自動的に「VRモード」で初期化が始まるように設定されています。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)

- DVD-RWディスクに録画可能なフォーマットです。
- 録画や編集をくり返し行うことができます。
- 録画したディスクは、他のDVD-RW対応プレーヤーで再生ができます(**11**ページ)。
- Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用すると、BSデジタル放送などの「1回録画可」の番組を録画することができます(**53**ページ)。

ビデオモード(ビデオフォーマット)

- DVD-Rディスク、DVD-RW(Ver.1.1)ディスクに録画可能なフォーマットです。
- 録画後にディスクのファイナライズを行うと、本機で録画した映像を他のDVDプレーヤーで再生することができます。
- ファイナライズ前の再生、追加録画や編集、ファイナライズ処理は本機のみで可能です。
- 編集機能は制限されます。
- 「1回録画可」の番組は録画できません。
- 二カ国語放送を録画するときは、主音声/副音声のいずれか選択した音声のみの記録となります。

本機では、DVD-RW(Ver.1.1)ディスクの記録フォーマット(VRモードとビデオモード)を変更することができます。ただし、記録フォーマットを変えるにはディスクの初期化(119ページ)を行うため、変更時にはそれまで録画した内容がすべて消去されます。

ディスクの種類ごとに可能な記録フォーマットは以下のとおりです。

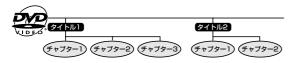
ディスク	記録フォーマット	可能な機能
DVD-RW (Ver.1.0)	VRモード	再生、録画、編集 (オリジナル/プレイリスト)
DVD-RW (Ver.1.1〜)	VRモード	再生、録画、編集 (オリジナル/プレイリスト)
	ビデオモード	再生、録画 編集(制限あり)
DVD-R (Ver.2.0〜)	ビデオモード	再生、録画 編集(制限あり)

ご注意

- DVD-RW/DVD-Rの8cm盤片面1層ディスクは、ビデオモードでのみ録画が行えます。ディスクによっては録画できない場合があります。

タイトルとチャプターについて

■DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにそれをチャプターという単位に分けています。タイトルは通常映画1作品やアルバム1枚分に相当し、チャプターはタイトル中の映像や曲の区切りになります。

[例] DVDビデオディスクの場合

VRモードで録画したとき

1回の録画が1タイトル(1チャプター)となります。ただし、録画の途中で一時停止をしたり編集操作でシーンを消去したりすると、自動的にチャプターが区切られます。また、お好みの場面でチャプターを区切る(チャプターマーク)こともできます(**86**・**97**ページ)。

ビデオモードで録画したとき

1回の録画が1タイトルとなります。録画中、3分ごとに自動でチャプターが区切られます。チャプターを区切る間隔は変更できます(**117**ページ)。

■ビデオCD、音楽用CDでは、ディスクをトラックという単位で分けています。(一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。)

[例] ビデオCD・音楽用CDの場合

ヒント

- それぞれのタイトル、チャプター、トラックには順番に番号がつけられます。ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものがあります。
- DVD-R/RWへのビデオモード(ビデオフォーマット)による録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによってはDVD-R/RWを再生しないモデルがあります。

ご注意

- ビデオモードでは、タイトル消去、タイトル名変更以外の編集を行うことはできません。
- DVD-RW(Ver.1.0)のディスクはビデオモードの録画を行うことができません。Ver.1.1以降のディスクを使用してください。
- 1枚のディスクに作成できるチャプター数は、メモリーの空き容量により増減しますが、目安として200です。ただし、消去できないチャプターマーク(シーンの追加やシーンの消去を行ったときに自動的に作成されるチャプターマーク)は、1タイトルあたり50までしか作成できません。

他機での再生について(ファイナライズ)

本機で録画したDVD-RWやDVD-Rディスクには、ファイナライズ処理を行います。ファイナライズを行うと、本機以外のDVD-RW、DVD-R再生可能なプレーヤーで再生ができるようになります。

ファイナライズの方法について詳しくは、「ディスクに関する設定(ディスク設定)」(**119**ページ)の「ファイナライズ」をご覧ください。

VRモードで録画したディスクのとき

他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できない場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画編集操作を行うことができます。

DVD-RW対応のDVDプレーヤーには、下記のマークが表示されています。

RW COMPATIBLE この表示は、DVDレコーダーでVRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します。

ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のピックアップの状態により、再生できない場合があります。

ビデオモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。ビデオモードのディスクをファイナライズすると、以降の録画編集操作ができなくなります。ファイナライズを行うと、DVDプレーヤーのトップメニューボタンで働くタイトルメニューが自動的に作成されます。

ヒント

- DVD-RW Ver.1.1のディスクは、ビデオモードで録画し、ファイナライズした後でも初期化することにより再度録画できるようになりますが、録画された内容は全て消去されます。
- ファイナライズの処理には数分から約1時間必要です。(ディスクの空き容量が多いと、処理に時間がかかります。)

ご注意

- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVDプレーヤーでのピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。
- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証する機能ではありません。再生できないプレーヤーもあります。

各部のなまえ

(　)内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

本体前面

◄DVDボタン
（**107**ページ）

ビデオ►ボタン
（**105**ページ）

ビデオ自動録画ランプ
（**75**ページ）

ビデオ録画ボタン
（**23**ページ）

電源ボタン
（**18・22**ページ）

ビデオテープ
取出しボタン
（**47**ページ）

ビデオ停止ボタン
（**22**ページ）

ビデオ再生ボタン
（**22**ページ）

選局ボタン
（**20・23**ページ）

トラッキング調整ボタン
（**49**ページ）
ビデオテープ再生中のトラッキングを調整します。
（「選局」と「トラッキング」は兼用のボタンになっています）

ビデオ／DVD出力切換ボタン
（**18・22**ページ）

リモコン受光部

ビデオテープ挿入口

ビデオ表示部

DVD表示部

エディットボタン
（**105・107**ページ）

エディットランプ
（**105・107**ページ）

本体底面 リセットボタン
（**126**ページ）

DVD出力ランプ
（**24・54**ページ）

ビデオ出力ランプ
（**46・68**ページ）

ディスクトレイ

ディスク予約ランプ
（**63**ページ）

DVD自動録画ランプ
（**66**ページ）

DVD録画ボタン
（**20**ページ）

トレイ開／閉ボタン
（**18**ページ）

DVD再生ボタン
（**19**ページ）

DVD停止ボタン
（**19**ページ）

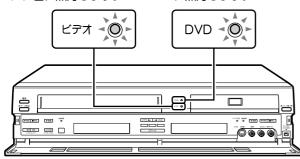
扉の開けかた
扉端のくぼみに指をかけて、手前に引いて開けます。

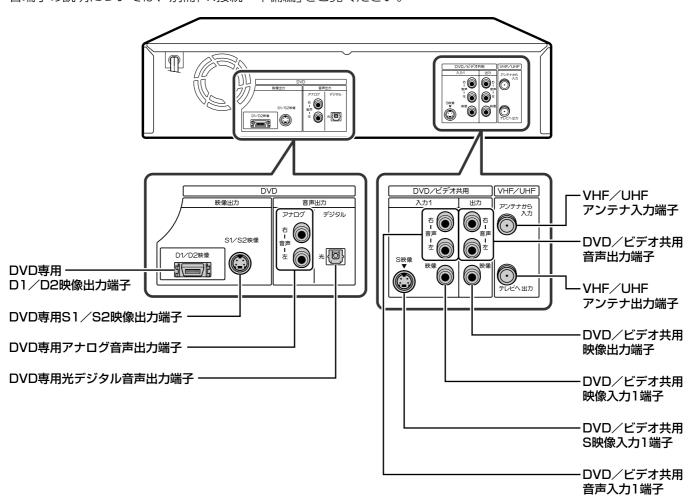
DVD専用
DV入出力端子
（**110**ページ）

前面入力2端子
（**108**ページ）
S映像入力2端子
映像入力2端子
音声入力2端子

■ビデオ／DVD出力切換ボタンについて

DVD／ビデオ共用出力端子から出力される信号を切り換えます。
ボタンを押すたびに、「DVD出力」⟷「ビデオ出力」と切り換わります。出力に合わせてDVD出力ランプ、またはビデオ出力ランプが点灯します。

- 出力がビデオのときは、ビデオ出力ランプがオレンジ色に点灯します。
- 出力がDVDのときは、DVD出力ランプが緑色に点灯します。

本体後面

各端子の説明については、別冊「1.接続・準備編」をご覧ください。

DVD/ビデオ共用出力とDVD出力について

- 本機には、DVDとビデオの映像・音声を出力する共用出力端子と、DVDの映像・音声のみを出力するDVD出力端子があります。
  共用出力：DVDやビデオの映像・音声出力を切り換えてお楽しみいただけます。
  DVD出力：ディスクの内容の出力のみをお楽しみいただけます。
- DVD側、またはビデオ側に出力が切り換わったときなどに、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられるためです。DVD再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わった後、必ず下げておいてください。

ご注意

S映像入力端子について

- 本機に内蔵しているビデオは、S-VHSタイプではありません。ビデオ使用時、S映像入力端子に入力された外部機器のS映像信号は、S-VHSの解像度で録画できません。
- 接続は、必ず本機および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

各部のなまえ(つづき)

(　)内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

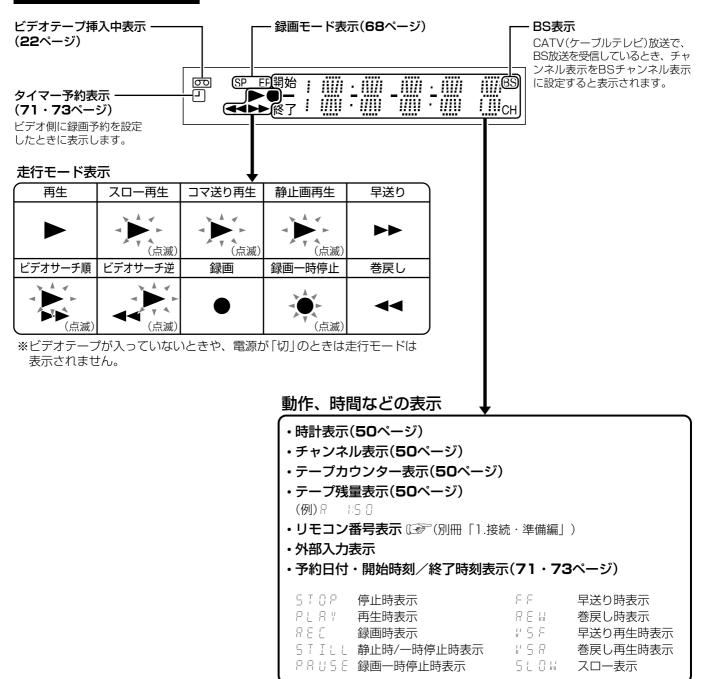
本体ビデオ表示部

※ビデオテープが入っていないときや、電源が「切」のときは走行モードは表示されません。

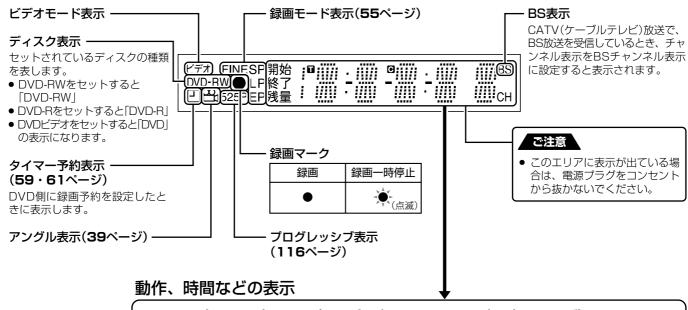
動作、時間などの表示

- 時計表示(**50**ページ)
- チャンネル表示(**50**ページ)
- テープカウンター表示(**50**ページ)
- テープ残量表示(**50**ページ)
  (例)R　1:50
- リモコン番号表示 ☞(別冊「1.接続・準備編」)
- 外部入力表示
- 予約日付・開始時刻／終了時刻表示(**71・73**ページ)

STOP	停止時表示	FF	早送り時表示
PLAY	再生時表示	REW	巻戻し時表示
REC	録画時表示	VSF	早送り再生時表示
STILL	静止時/一時停止時表示	VSR	巻戻し再生時表示
PAUSE	録画一時停止時表示	SLOW	スロー表示

ヒント

- 本機は節電のため、電源を切ったときに本体ビデオ表示部の時刻表示が消えるように設定されています。(設定を変えたいときは、初期設定画面のオプション内、「DVD／ビデオオプション」の「電源オフ時刻表示」を「入」に設定してください。)

本体DVD表示部

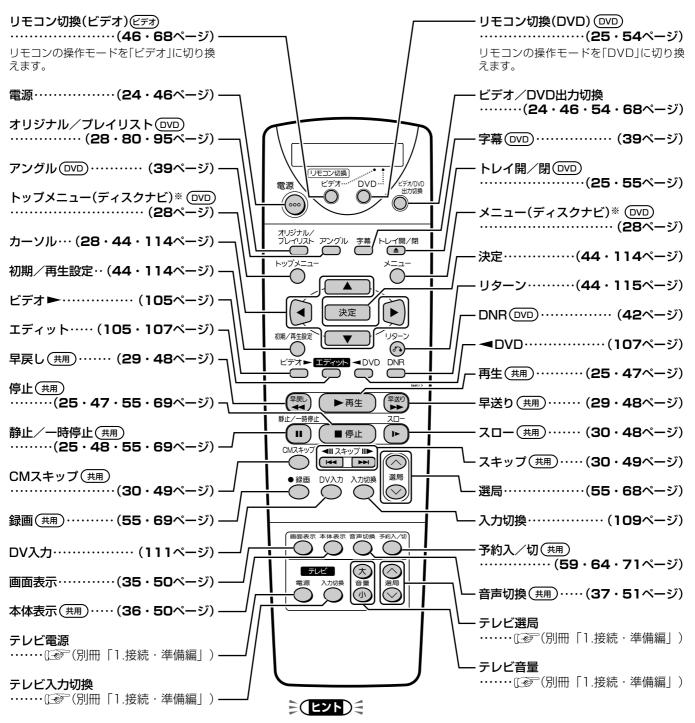
動作、時間などの表示

- タイトル（トラック）、チャプター番号表示、チャンネル表示（**36**ページ）
- 再生経過時間表示（**36**ページ）
- 録画経過時間表示（**36**ページ）
- 動作表示（**36**ページ）
- ディスク残量表示（**36**ページ）
- 予約日付・開始時刻／終了時刻表示（**59・61**ページ）
- ディスクの種類表示

表示	内容	表示	内容
LOAD	ディスク読み込み時表示	OPEN	ディスクトレイ開時
STOP	停止時表示	CLOSE	ディスクトレイ閉時
PLAY	再生時表示	PAUSE	録画一時停止時表示
REC	録画時表示	FWD	早送り時表示
RESTORE	修復中	REW	早戻し時表示
STILL	静止時/一時停止時表示	SLOW	スロー表示
HELLO	電源「入」時	FINALIZE	ファイナライズ中
BYE	電源「切」時	INITIALIZE	ディスク初期化中
- - - - -	DVDスタンバイ中	WRITE	ディスク管理情報書き込み中
- - - - -（点滅）	DVD処理中	READY	DVD-Rの録画準備中

各部のなまえ(つづき)

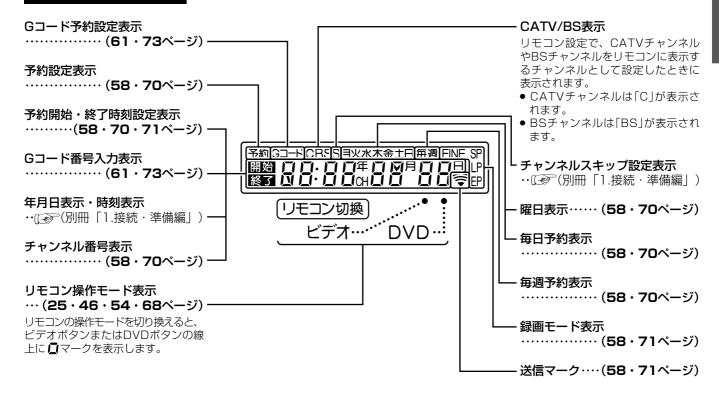
- リモコンのボタンは、本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。
- (　)内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

リモコン 扉を閉じたところ

ヒント

- ビデオの記載は、ビデオ側に働くボタンです。
- DVDの記載は、DVD側に働くボタンです。
- 共用の記載は、リモコンの操作モード(リモコン切換)に応じて、DVD側/ビデオ側それぞれに働くボタンです。
- 上記記載のないボタンは、リモコンの操作モード(リモコン切換)に関係なく働くボタンです。

ご注意

- ※の付いたボタンを押すと、自動的にDVD操作モードに切り換わります。

リモコン表示部

リモコン 扉を開けたところ

● **リモコン扉の開けかた**…リモコンの「開▷」部のくぼみに指をかけて、上側に開きます。

- **毎週／毎日**……… (**58・70ページ**)
- **予約設定**…………(**58・70ページ**)
- **ディスク予約モード** (DVD) ………………………… (**63ページ**)
- **カーソル**… (**28・44・114ページ**)
- **編集**※ (DVD) …….. (**80・95ページ**)
- **Gコード**………… (**61・72ページ**)
- **Gコード修正**……. (**61・73ページ**)
- **数字**….(**27・32・61・73ページ**)
- **チャンネル設定** …….☞(別冊「1.接続・準備編」)
- **時計合わせ** …….☞(別冊「1.接続・準備編」)
- **リモコン設定** …….☞(別冊「1.接続・準備編」)

- **録画モード** (共用) …(**55・68ページ**)
  録画モードを選ぶときに押します。
  ● DVDモード時「FINE、SP、LP、EP」
  ● ビデオモード時「SP(標準)、EP(3倍)」
- **外部自動録画** (共用) ………………….(**66・75ページ**)
- **予約確認**……………… (**76ページ**)
- **決定**……………(**44・114ページ**)
- **リターン**………(**44・115ページ**)
- **送り**………………(**59・71ページ**)
- **Gコード決定**……. (**61・73ページ**)
- **プログラム／** (**リピート**) (DVD) ……………………(**32・33ページ**)
- **ズーム** (DVD) ………….. (**40ページ**)
- **メモリ** (DVD) ………….. (**32ページ**)
- **取消／消去／リセット** (共用) ‥(**33・51・77・88・93ページ**)

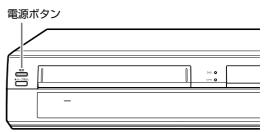
電源 リモコン切換 ビデオ DVD ビデオ/DVD出力切換 予約設定 毎週／毎日 録画モード 外部自動録画 ディスク予約モード 予約確認 決定 編集 リターン Gコード Gコード修正 Gコード決定 送り プログラム ズーム メモリ チャンネル設定 リモコン設定 取消／消去／リセット 時計合わせ 画面表示 本体表示 音声切換 予約入／切 テレビ 電源 入力切換 音量 大 小 選局

すぐに使う

■ここでは、ビデオとDVDの基本的な再生と録画の方法を、おもに本体のボタンを使って説明しています。メニューなどの操作には、リモコンを使います。

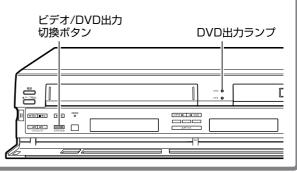
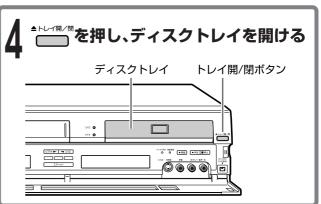
ディスクを再生する

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

1　テレビの電源を入れ、入力切換を本機とつないだ外部入力（「ビデオ」など）にする

2　［電源］を押し、本機の電源を入れる

● 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3　前面扉を開け、［出力切換 ビデオ/DVD］を押して「DVD出力」にする

● DVD出力ランプが点灯（緑色）します。
● 扉を開けるときは、扉端のくぼみに指をかけて手前に引いて開けます。

4　［▲トレイ開/閉］を押し、ディスクトレイを開ける

次ページの手順へつづく

5 ディスクトレイにディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。
- ディスクの両面に記録されている場合は、見たい面を下にして置きます。

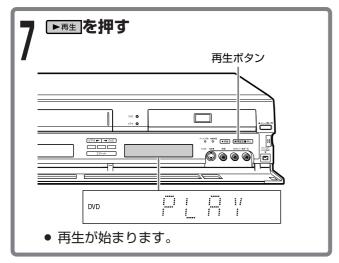
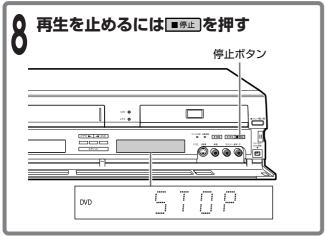
6 ≜トレイ開/閉を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- ディスクによっては、自動的に再生が始まるディスクもあります。

7 ►再生を押す

- 再生が始まります。

8 再生を止めるには■停止を押す

ヒント

- リモコンで操作をするときは、リモコンのリモコン切換(DVD)ボタンを押してリモコン操作モードを「DVD」に切り換えてください。
- 手順**7**で►再生ボタンを押したとき、ディスクによってはテレビ画面にメニュー画面が表示されることがあります。そのときは表示されたメニュー画面に従って操作を行い、再生をしてください。

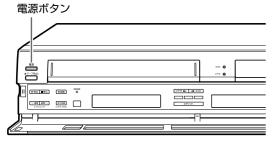
ご注意

- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると再生ができません。選局(∧／∨)ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

ディスクにテレビ番組を録画する

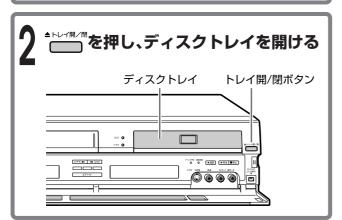
DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■ディスクの種類によっては、録画の操作方法やディスクをセットしたときの動作が異なります。DVD-RW(VRモード)とDVD-RW(ビデオモード)/DVD-Rについては**52**ページをご覧ください。

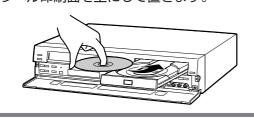
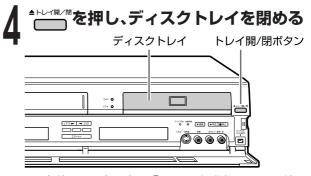
■録画モードを切り換えると、録画可能時間を変えることができます(**53**ページ)。

1 電源を押して本機の電源を入れ、前面扉を開ける

- 扉を開けるときは、扉端のくぼみに指をかけて手前に引いて開けます。

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、ビデオ／DVD出力切換ボタンで「DVD出力」に切り換えてください。

2 ≜トレイ開/閉を押し、ディスクトレイを開ける

3 ディスクトレイに録画用のディスクを置く

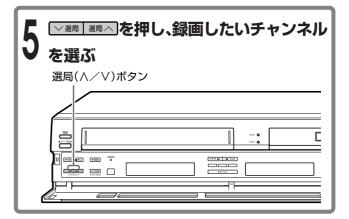
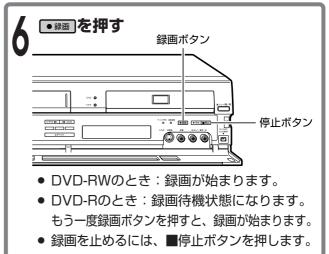
- ラベル印刷面を上にして置きます。

4 ≜トレイ開/閉を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます。しばらくお待ちください(約1分から1分30秒)。「録画初期設定」の「DVD-RW自動初期化」で記録フォーマットを設定します(**118**ページ)。

5 ∨選局 選局∧を押し、録画したいチャンネルを選ぶ

6 ●録画を押す

- DVD-RWのとき：録画が始まります。
- DVD-Rのとき：録画待機状態になります。もう一度録画ボタンを押すと、録画が始まります。
- 録画を止めるには、■停止ボタンを押します。

ヒント

- DVD-Rディスクで、録画を開始する操作を「録画初期設定」の「DVD-R録画開始」(**118**ページ)で設定して、手順**6**で●録画ボタンを押す回数を1回に変えることができます。

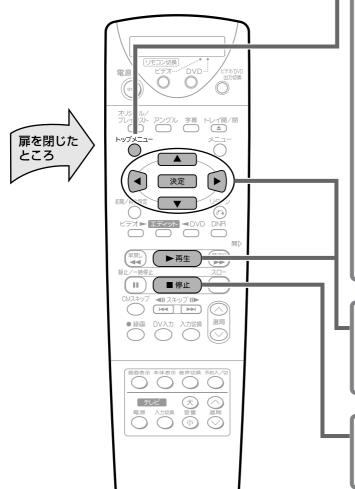
他のDVDプレーヤーで再生したいときは

DVD-RWのとき：DVD-RWに対応していないDVDプレーヤーで再生したいときは、ビデオモードで録画してください(**10**ページ)。
すべての録画が終了した後、ファイナライズを行ってください(**11**・**119**ページ)。

DVD-Rのとき：すべての録画が終了した後、ファイナライズを行ってください(**11**・**119**ページ)。

録画したDVDを再生する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■録画したDVDを再生するときは、テレビ画面に一覧表示されたタイトルのワンシーン(ディスクナビ)から選んで再生することができます。
■ファイナライズをしたビデオモードのDVDを再生するときは、メニューに一覧表示されるタイトルから選んで再生します。

1 録画したDVDをセットする

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。

2 トップメニューを押す

- ディスクナビ画面が表示されます。

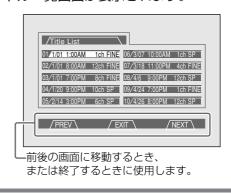
■ ファイナライズをしたDVD-RW(ビデオモード)またはDVD-Rのとき

トップメニューを押す

- タイトル一覧画面が表示されます。

前後の画面に移動するとき、または終了するときに使用します。

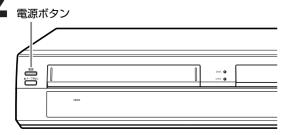
3 ▲ ▼ ◀ ▶で再生したいタイトルを選び、決定または▶再生を押す

- 選んだタイトルの再生が始まります。

4 再生を止めるには■停止を押す

ご注意

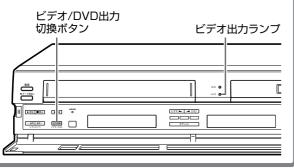
- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると再生ができません。選局(∧／∨)ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

テープを再生する

1 テレビの電源を入れ、入力切換を本機の「DVD／ビデオ共用出力端子」とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2 電源を押し、本機の電源を入れる

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3 前面扉を開け、出力切換 ビデオ/DVDを押して「ビデオ出力」にする

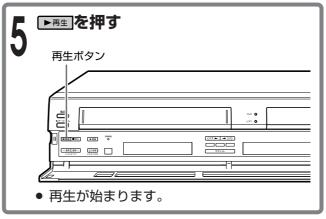
- ビデオ出力ランプが点灯(オレンジ色)します。
- 扉を開けるときは、扉端のくぼみに指をかけて手前に引いて開けます。

4 ビデオテープの中央部をゆっくり押して入れる

- 本体ビデオ表示部に「[oo]」が表示されます。
- ツメの折れたビデオテープを入れたときは、自動的に再生が始まります。(オート再生)
- テープを取り出すときは、⏏テープ取出しボタンを押して出てきたテープを水平に取り出します。

5 ►再生を押す

- 再生が始まります。

6 再生を止めるには■停止を押す

ヒント

- リモコンで操作をするときは、リモコンのリモコン切換(ビデオ)ボタンを押してリモコン操作モードを「ビデオ」に切り換えてください。
- 再生をしてビデオテープが最終(終端)まで到達すると、自動的にテープの最初(始端)まで巻き戻しされ、テープが出てきます。(オートリワインド)
- ビデオテープの片側を押したり、無理に早く入れたりしたときにテープが正しく入らず、つまる場合があります。このようなときはしばらくお待ちください。ビデオテープが自動的に出てきます。(オートイジェクト)
- S-VHSの市販ソフトも楽しめます。
- S-VHS本来の高画質(水平解像度400本以上)は得られません。
- S-VHS録画はできません。
- 再生および特殊再生(スロー、コマ送り)時に、画面ノイズや乱れが出る場合もあります。
- 本機の電源が切りのとき、ビデオテープを入れると自動的に電源が入ります。(オートパワーオン)

⚠警告 ビデオテープ挿入口に異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意 小さなお子さまがビデオテープ挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

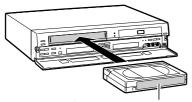
テープにテレビ番組を録画する

1 電源を押して本機の電源を入れ、前面扉を開ける

● 扉を開けるときは、扉端のくぼみに指をかけて手前に引いて開けます。

電源ボタン

● 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、ビデオ／DVD出力切換ボタンで「ビデオ出力」に切り換えてください。

2 ビデオテープ挿入口に録画用のビデオテープを入れる

テープが見える面を上にして
テープ背ラベルを手前にします。

● 本体ビデオ表示部に「⊡」が表示されます。
● ツメの折れたビデオテープには録画できません。録画ボタンを押したとき、自動的に排出されます。（オートキャンセラー）

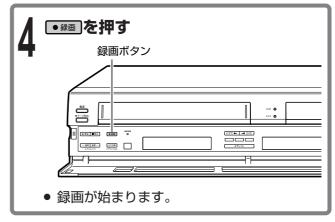
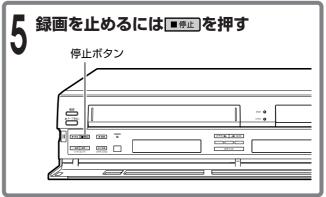
3 ∨選局 選局∧を押し、録画したいチャンネルを選ぶ

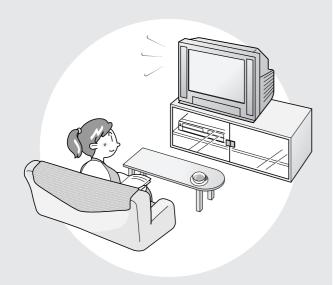
選局（∧／∨）ボタン

4 ●録画を押す

● 録画が始まります。

5 録画を止めるには■停止を押す

ヒント

● ビデオテープが最後まで録画されると、自動的に巻戻しが始まります。巻戻しが終わるとテープが出てきます。（オートリワインド）

ディスクの再生

■ここでは、ディスクを再生するときのいろいろな操作や機能について説明をしています。ディスクによっては、操作のしかたなど取扱説明書に記載してある内容と異なる場合があります。このようなときは、画面に表示される内容に従って操作をしてください。

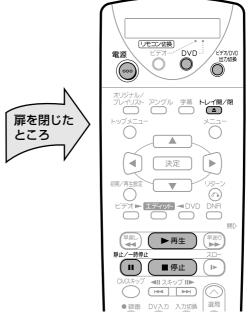
■タイトルや各機能などの説明に表示されている「DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R VIDEO CD CD」のマークは、その機能ごとに使えるディスクの種類を表しています。

■操作中、テレビ画面に「⃠」マークが表示される場合があります。これは取扱説明書に記載されている操作をディスク側で禁止していることを表しています。

DVD操作で手順**1**～**6**の説明は、特に必要のない限り、**25**ページ以降では記載していません。

再生専用のディスクを再生する

DVD-VIDEO

再生するディスクによっては、特定の操作を禁止しているものもあります。必ずディスクに付属の説明書もご覧ください。

1

① テレビの電源を入れる

- オーディオ機器などをつないだ場合、それらの電源も入れてください。

② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

電源 を押し、本機の電源を入れる

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順**3**の操作で出力を切り換えてください。

3

ビデオ/DVD出力切換 を押し、「DVD出力」にする

本体のDVD出力ランプが点灯（緑色）します。

- ボタンを押すたびに、「DVD出力」↔「ビデオ出力」と切り換わります。
- ＤＶＤの専用出力端子でご覧になる場合も、「DVD出力」に切り換えてください。

次ページの手順へつづく

4 リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

● リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

5 トレイ開/閉 ⏏ を押してディスクトレイを開け、ディスクトレイにディスクを置く

● ラベル印刷面を上にして置きます。
● ディスクの両面に記録されている場合は、見たい面を下にして置きます。

6 トレイ開/閉 ⏏ を押し、ディスクトレイを閉める

● 本体DVD表示部に「LOAD」が表示されます。消えるまで待ってください。

7 ▶再生 を押す

● 再生が始まります。
● ディスクによっては、メニュー画面が表示されることがあります。そのときは、表示されたメニュー画面(選択画面)に従って、操作をして再生してください。

再生を一時停止するときは

静止／一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。

再生を停止するときは

■停止ボタンを押します。

ディスクを取り出すときは

トレイ開／閉⏏ボタンを押します。

電源を切るときは

電源ボタンを押します。

ヒント

● 規定外のディスクが挿入されたり、ディスクの傷などにより再生できなくなった場合は、「規定外ディスクですディスクを取り出してください」の表示が出てトレイ開閉以外の操作ができなくなります。このようなときはディスクを取り出してください。
● ディスクによっては、手順**6**でディスクトレイを閉めると自動的に再生が始まるものもあります。

ご注意

● DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると再生ができません。選局(∧／∨)ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

DVDディスクのメニュー画面が表示されたとき

DVD-VIDEO

ディスクによっては、メニューが記録されているものがあります。テレビ画面に表示されるディスクのメニュー画面や、ディスクに付属の説明書などに従って操作してください。

■メニュー画面の基本操作

トップメニュー画面を表示する .... トップメニュー
ディスクメニュー画面を表示する .... メニュー
移動、選択をする .... ▲ ▼ ◀ ▶
項目を決定する .... 決定

ヒント

● トップメニューは、ディスクに記録されているタイトルを選ぶメニューです。
● ディスクメニューは、字幕、音声言語を設定したり、ディスクガイドを表示させるためのメニューです。

ご注意

● DVDビデオディスクによっては、トップメニューを「タイトル」という名称で説明しているものがあります。「タイトルキー」と説明しているボタンは、本機のトップメニューボタンで操作してください。

DVDのDTS／ドルビーデジタル音声を再生するときのご注意

DVD-VIDEO

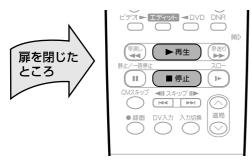
● 光デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのDTS音声を再生しないでください。また、ドルビーデジタル音声も接続したオーディオ機器がドルビーデジタルデコーダー内蔵ではない場合にはディスクのドルビーデジタル音声を再生しないでください。異音が出てスピーカーを破損したり、耳に悪影響をおよぼすおそれがあります。
● DTS音声を再生するときは、アナログ音声出力端子からは音が出ません。

再生専用のディスクを再生する(つづき)

再生を止めたところから再生する（つづき再生）

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

再生を止めると、本機がその場所を記憶します。次に再生をするときに記憶した場所から再生し、続きから見ることができます。

1 再生中に■停止を押し、再生を止める

● テレビ画面に「つづき」と表示されます。表示されないときは、つづき再生ができません。

2 ▶再生を押す

● 再生を止めたところから、再生が始まります。

最初から再生したいとき

① ■停止を押し、再生を止める

② もう一度■停止を押す

● 「つづき」の表示が消えます。

③ ▶再生を押す

● 最初から再生します。

ヒント

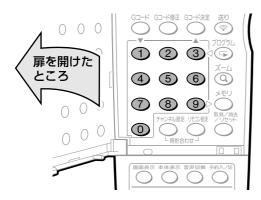
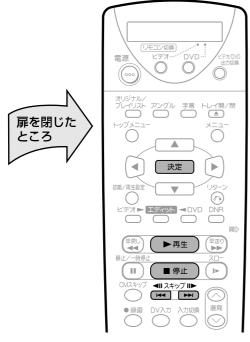
● 電源を切っても、つづき再生をすることができます。
● ディスクによっては、つづき再生をしないものがあります。
● 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まり位置がずれることがあります。

ご注意

次の場合、つづき再生が解除されます。

- ディスクトレイを開け閉めしたとき。
- ディスクナビ画面を表示させたとき。
- DVD-R/DVD-RWディスクの再生を止めた後、ファイナライズや編集操作をしたとき。
- オリジナルとプレイリストを切り換えたとき。
- オート再生中に■停止ボタンを押したとき。

音楽用CDやビデオCDを再生する

VIDEO CD　CD

1 再生中に数字ボタンを押し、再生したいトラック番号を選ぶ

［例］13曲目を選曲する（①③と押す）

2 決定 または ►再生 を押す

選んだトラック（曲名）から再生が始まります。

DTS音声で記録されたCDを再生するときのご注意

CD

- 光デジタル音声出力端子に接続したオーディオ機器がDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器でないときは、CDのDTS音声を再生しないでください。異音が出てスピーカーを破損したり、耳に悪影響をおよぼすおそれがあります。

プレイバックコントロールで再生する（PBC再生）

VIDEO CD

テレビ画面に表示される選択用のメニューに従って、再生ができます。（PBC機能）

1 PBC対応のビデオCDを再生する

- 選択用のメニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンで、メニュー画面から操作したい（再生したい）番号を選ぶ

3 決定 または ►再生 を押す

- 操作方法はディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

■その他の操作

「NEXT（次へ）」のとき .... スキップ ►►|

「PREVIOUS（前へ）」のとき .... スキップ |◄◄

PBC機能を使わないで再生するとき

① ■停止 を押し、再生を止める

② スキップ ►►| を押す

PBC再生に戻すとき

① ■停止 を押し、再生を止める

② ►再生 を押す

ヒント

- ディスクによっては、決定することを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、決定ボタンまたは►再生ボタンを押してください。

MDとデジタル接続し、CDを再生してMDに録音して楽しむとき

本機とMDをデジタル接続してCDをMDに録音したときに、MDの曲番（トラック番号）はCDの曲番（トラック番号）と同じ所に記録されますが、次の場合、CDの曲番とMDに記録された曲番が一致しないことがあります。

- CDの曲間が短い場合。
- CDをプログラム再生した場合や、再生設定でトラックの指定を行った場合など。

ご注意

- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると再生ができません。選局（∧／∨）ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。

録画したDVDを再生する

映像から選んで再生する(ディスクナビ)

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■録画または編集したディスクを再生するときは、画面(ディスクナビ)に一覧表示された画像から選んで再生することができます。
ディスクナビでは、各タイトルの最初の映像が一覧表示されます。

■ファイナライズをしたビデオモードのディスクでは、ディスクナビが表示されません。
「タイトルから選んで再生する」(**29**ページ)をご覧ください。

1 トップメニュー または メニュー を押す

● ディスクナビ画面が表示されます。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で再生したいタイトルの映像を選び、決定 を押す

● 選んだタイトルの再生が始まります。

「オリジナル」か「プレイリスト」かを切り換えるには

DVD-RW VRモード

DVD-RW(VRモード)のディスクを再生して、「プレイリスト」が作成してある場合に切り換えることができます。

● ディスクナビ画面を表示した後、次の操作をしてください。

オリジナル/プレイリスト を押し、「オリジナル(ORG)」か「プレイリスト(PL)」かを選ぶ

● オリジナル、プレイリストについて詳しくは、**79**ページをご覧ください。

ヒント

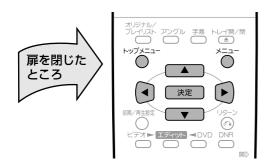
- ディスクナビで表示される各タイトルの映像は、お好みの場面に変更することができます。詳しくは、**92**・**99**ページをご覧ください。
- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、再生が一瞬停止したように見えます。
- ディスクの傷や汚れなどが原因で録画が途中で終了したタイトルは、ディスクナビ画面などのタイトル名の頭に「!」マークが表示されます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルが本機で表示できない文字(漢字など)の場合は、「＊＊＊＊・・・・」(最大24文字分)の表示となります。
- ディスクナビ画面を出さずに▶再生ボタンを押して再生すると、ディスクの一番最初のタイトルから再生が始まります。録画が終わってすぐに再生するときは、ディスクナビ画面から再生すると便利です。

ご注意

- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると再生ができません。選局(∧/∨)ボタンで他のチャンネルに切り換えてください。
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストを再生したとき、1タイトルが12時間以上ある場合は、そのタイトルは12時間までしか再生できません。
- 他のDVDレコーダーで編集したディスクにチャプターマークが201以上あるときは、再生操作しか行えません。

タイトルから選んで再生する

DVD-RW ビデオモード　DVD-R

DVD-RW(ビデオモード)／DVD-Rで録画したディスクをファイナライズした後は、メニューボタンを押すとタイトル一覧画面が表示されます。再生したいタイトル名を選んで再生できます。

1 **トップメニュー または メニュー を押す**

- タイトル一覧画面が表示されます。

前後の画面に移動するとき、
または終了するときに使用します。

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で再生したいタイトル名を選び、決定 を押す**

- 選んだタイトルの再生が始まります。

ヒント

- ビデオモードで録画したディスクの場合、ファイナライズする前はディスクナビが表示されます。ファイナライズすると、他のDVDプレーヤーでも再生ができるようメニュー画面(タイトル一覧)が自動的に作成されます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルが本機で表示できない文字(漢字など)の場合は、「＊＊＊＊・・・・」(最大24文字分)と表示されます。

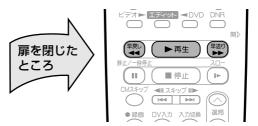
ご注意

- ファイナライズ(**119**ページ)をするまでは、トップメニューボタンまたはメニューボタンを押すと、ディスクナビ画面が表示されます。

見たい・聞きたいところを探す

早送りや早戻し、コマ送りなどいろいろな再生操作をすることができます。
ディスクによっては、操作が禁止されている場合があります。

早送り・早戻し再生をする(サーチ)

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

① 再生中に 早送り または 早戻し を押す

- 押すたびに、次のように速さが切り換わり、画面表示も切り換わります。

早送り再生
1▶▶(約2倍速) → 2▶▶(約8倍速) → 3▶▶(約32倍速) → 1

早戻し再生
1◀◀(約2倍速) → 2◀◀(約8倍速) → 3◀◀(約32倍速) → 1

② 通常の再生に戻すときは、▶再生 を押す

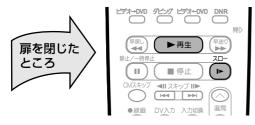
ヒント

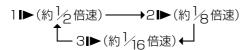
- DVDではタイトルをまたぐ早送り・早戻しができません。タイトルの最初や最後になると通常再生に戻ります。また、早送り・早戻し中は音声が再生されません。
- ビデオCDと音楽用CDのときは、1(約2倍速)→2(約8倍速)の順に速さが切り換わります。
- DVDビデオディスクやビデオCDは、音声と字幕が再生されません。
- DVDビデオディスク再生中に早送りサーチをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、本書に記載のスピードにならない場合があります。

見たい・聞きたいところを探す(つづき)

ディスクによっては、操作を禁止している場合やチャプター表示をしないものがあります。

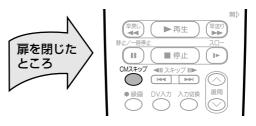
スロー再生をする

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD

① **再生中に(スロー)を押す**

- 押すたびに、次のように再生速度が切り換わり、画面表示も切り換わります。

② **通常の再生に戻すときは、(▶再生)を押す**

場面をとばして再生する(CMスキップ)

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

再生中にコマーシャルをとばしたり、見たい場面をすばやく探すときに便利です。

再生中に(CMスキップ)を押す

- 1回押すと、約30秒単位で場面をとばします。
- 連続して4回までCMスキップボタンを押して、約2分間の場面をとばすことができます。

ヒント

- 同じタイトル内で働く機能です。

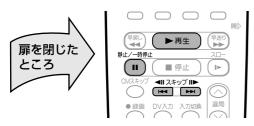
コマ送り・コマ戻し再生をする

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD

① **再生中に(静止／一時停止)を押す**

② **(スキップ▶▶|)(コマ送り)または(|◀◀スキップ)(コマ戻し)を押す**

③ **通常の再生に戻すときは、(▶再生)を押す**

ヒント

- DVD-RW(VRモード)のディスクでコマ戻しをすると、0.5秒単位でコマ戻しをします。
- ビデオCDでは、コマ戻しはできません。
- DVD-RW(VRモード)以外のディスク(DVDビデオディスクなど)でコマ送りやコマ戻し動作をしたときは映像が2秒ほどずれることがあります。
- 音楽用CDでは、静止／一時停止❚❚ボタンを押すと、一時停止になります。

チャプターやトラックの頭出しをする

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

再生中に(|◀◀スキップ)または(スキップ▶▶|)を押す

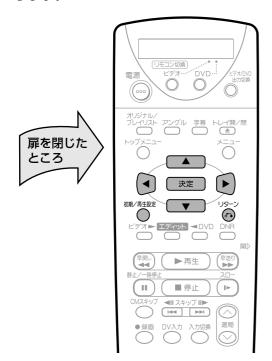
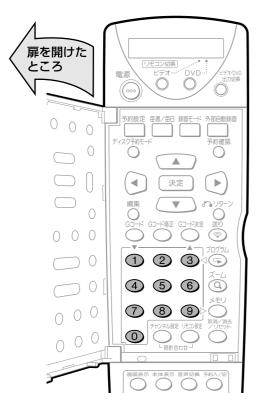
- スキップ|◀◀ボタンを押すと、再生中のチャプター(トラック)の先頭に戻ります。約5秒以内に続けて押すと、前のチャプター(トラック)の先頭に戻ります。
- スキップ▶▶|ボタンを押すと、次のチャプター(トラック)の先頭に進みます。

ヒント

- DVD-RW(VRモード)録画のディスクは、チャプターを手動で区切ることができます(**86**・**97**ページ)。
DVD-RW(ビデオモード)／DVD-R録画のディスクは、チャプターを3分おきなどの設定した間隔で録画中に自動的に区切ります(**117**ページ)。

タイトルやチャプター番号、経過時間で頭出しをする

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

■DVDのタイトルやチャプター、またはタイトルの経過時間、ビデオCDや音楽用CDのトラックで映像や曲を探すことができます。
■タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられています。その番号を選んで頭出しをします。またタイトルの経過時間を入力して場面や曲を探すこともできます。
■ディスクによっては、操作を禁止している場合があります。

1 再生中に 初期/再生設定 を押す

● 再生設定画面が表示されます。

（DVD再生時の画面例）

2 ▲ または ▼ で下記の頭出し項目を選び、決定 を押す

● DVDのとき
　T タイトル、C チャプター、経過時間
● ビデオCD、音楽用CDのとき
　T トラック、経過時間
● ビデオCDをPBC再生しているとき
　経過時間

3 ▲ または ▼ でタイトル、チャプター、トラックなどの番号や、経過時間を入力する

● 数字ボタンでも操作できます。

（DVD、経過時間の画面例）

● 経過時間を入力するときは
　◀ または ▶ で「時、分、秒」を選び、▲ または ▼ で数字を入力します。

4 決定 を押す

● 選んだところから再生します。

5 初期/再生設定 または リターン を押す

● 設定画面が消えます。

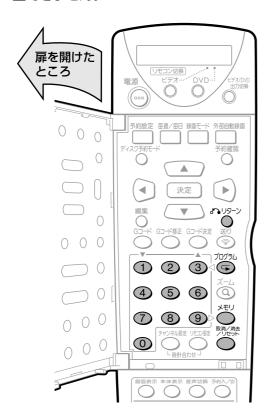
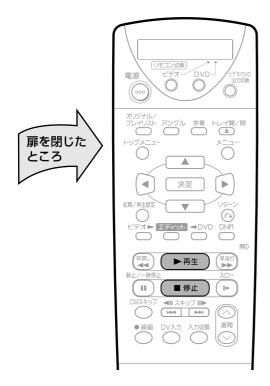
ヒント

● タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
● プログラム再生では働きません。
● 経過時間を入力して頭出しをするとき、ビデオCD、音楽用CDは同一トラック内で設定することができます。

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD-VIDEO　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

■タイトルやチャプター、トラックをお好みの順番で再生することができます。

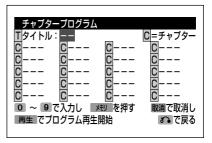
■ビデオCDや音楽用CDでは、トラックのみプログラム再生ができます。
DVD-RW(VRモード)のディスクではプログラム再生できません。

1 停止中に プログラム を押す

● タイトルプログラムまたはトラックプログラム画面が表示されます。

（タイトルプログラム画面例）

● タイトルまたはトラック単位でプログラムするときは、手順**2**へ進んでください。

チャプタープログラム画面を表示するときは、もう一度 プログラム を押す

● チャプタープログラム画面が表示されます。

● チャプタープログラムをするときは、まず再生するタイトル番号を数字ボタンで入力し、メモリボタンを押します。

2 プログラム再生したいタイトル／トラック／チャプターを数字ボタンで入力し、メモリ を押す

［例］12を入力するときは、①②と押す
　　5を入力するときは、⑤だけ押す

● 番号を間違えたときは、取消／消去／リセットボタンを押して番号入力しなおしてください。

3 手順2の操作をくり返して、プログラム再生する順にタイトル／トラック／チャプターの番号を入力する

4 ►再生 を押す

● プログラムした順に再生します。

プログラムの設定を途中でやめるときは
リターンボタンを押します。

プログラム再生を停止するときは
■停止ボタンを押します。続けてプログラム再生はできません。手順1からやりなおしてください。

プログラムを確認するときは
停止させてから、プログラムボタンを押します。

プログラムの内容を1つずつ消去するときは
プログラムボタンでプログラム画面を表示させて、取消／消去／リセットボタンを押し、1つずつ消去します。

プログラムを追加するときは
停止させてから、プログラムボタンでプログラム画面を表示させて、追加するタイトル／チャプターの番号を数字ボタンで入力します。

プログラムをすべて消去するときは
プログラムボタンでプログラム画面を表示させて、取消／消去／リセットボタンを約2秒間押します。
またディスクを取り出したり、電源を切っても、プログラムはすべて消去されます。

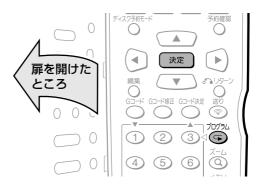
ヒント
- 通常再生中はプログラム設定ができません。
- タイトルやチャプターが記録されていないディスク、プログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生できません。

ご注意
- タイトルとチャプターを同時にプログラムすることはできません。

くり返し再生する（リピート再生）

リピート再生をする

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R VIDEO CD CD

再生中のタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生することができます。

1 **リピート再生したいチャプターやタイトル／トラックを選び、再生する**

2 **プログラムを押し、リピートしたい種類を選ぶ**
- リピート表示が点滅表示されます。

（チャプター画面例）　リピート表示

2／5
8／30
00：00：00
DVD

種類

- ボタンを押すたびに、次のようにリピートの種類が切り換わります。

DVDの場合

チャプターリピート：
再生中のチャプターの再生が終わると、そのチャプターの先頭からリピート再生します。
↓
タイトルリピート：
再生中のタイトルの再生が終わると、そのタイトルの先頭からリピート再生します。
↓
A-B間リピート A⊂B：
A-B間リピート（**34**ページ）をご覧ください。
↓
リピートオフ：リピート再生しません。

次ページの手順へつづく

くり返し再生する(リピート再生)(つづき)

ビデオCD/音楽用CDの場合

トラックリピート ：
再生中の曲(トラック)の再生が終わると、その曲の先頭からリピート再生します。

↓

ディスクリピート ：
ディスク内の全ての曲(トラック)が再生し終わると、最初の曲からリピート再生します。

↓

A-B間リピート A⊊B：
A-B間リピート(**34**ページ)をご覧ください。

↓

リピートオフ：リピート再生しません。

3 決定 または ►再生 を押す

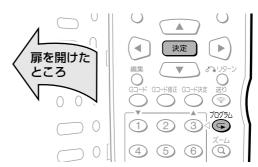
- リピート再生されます。
- 通常の再生に戻すときは、プログラムボタンを押して表示を消します。リピート再生が解除されます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中は、リピート再生できません。
- プログラム再生中はリピート再生できません。
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- ■停止ボタン、スキップボタン、トップメニューボタン、メニューボタンなどを押すと、リピート再生は解除されます。

再生したい部分だけをくり返し再生する(A-B間リピート)

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD

再生したい部分(シーンや曲)を指定して、くり返し再生することができます。

1 再生中に プログラム を3回押す

- 画面表示の「A⊊」が点滅します。

2 くり返す部分の始点(A)で 決定 または ►再生 を押す

- 始点(A)が設定されます。

3 くり返す部分の終点(B)で 決定 または ►再生 を押す

- 終点(B)が設定されます。

- これでA-B間が設定され、くり返し再生されます。
- 通常の再生に戻すときは、プログラムボタンを押してA⊊B表示を消します。

ヒント

- A-B間リピート再生は同じタイトルの中で行ってください。
- A-B間リピートは、マルチアングル(**39**ページ)の部分では働きません。

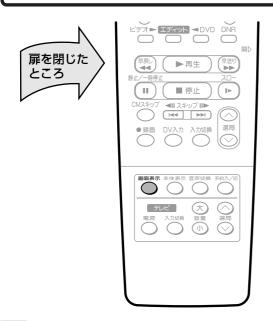
ご注意

- ビデオCDのPBC再生中は、A-B間リピート再生できません。
- プログラム再生中はA-B間リピート再生できません。
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- ■停止ボタン、スキップボタン、トップメニューボタン、メニューボタンなどを押すと、A-B間リピート再生は解除されます。

ディスクの情報や残り時間を見る

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R VIDEO CD CD

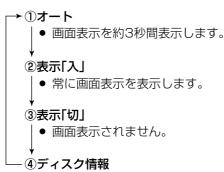
タイトルやチャプター、トラックの経過時間や残り時間、録画モードやディスクの空き時間など、ディスクの情報を見ることができます。

画面表示の切り換えかた

画面表示 を押す

- テレビ画面にディスクの情報が表示されます。ボタンを押すたびに、次のように画面表示が切り換わります。
- 画面表示を消すには、画面表示ボタンをくり返し押し、表示を消します。

①オート
- 画面表示を約3秒間表示します。

②表示「入」
- 常に画面表示を表示します。

③表示「切」
- 画面表示されません。

④ディスク情報
- ディスクがセットされているときに、ディスク内の情報を表示します。
  再生中は約10秒間表示した後、自動的に消えます。

ヒント

- ディスクによって、表示される内容は異なります。
- レターボックスサイズの信号を入力したときは、画面に表示される文字の一部が欠けて見える場合があります。

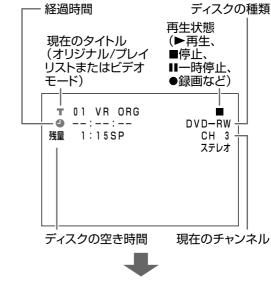
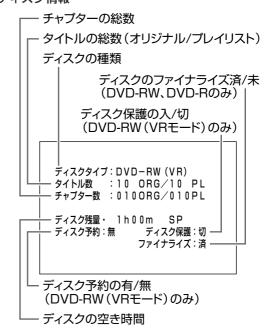
ディスク情報について

- ディスク情報では、ディスクの空き時間や録画したタイトル数などを知ることができます。
  録画を行う前に確認しておくことをおすすめします。

①オート

②表示「入」

③表示「切」

画面表示なし

④ディスク情報

ご注意

- DVDの専用出力端子でご覧になる場合にも、画面表示するときは、出力切換を「DVD出力」にしてください。

次ページへつづく

ディスクの情報や残り時間を見る(つづき)

ヒント

- 「1回録画可」または「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像を入力したときに画面表示をさせると、「1回録画可」または「録画禁止」と表示されます。コピー制御信号について詳しくは、**53**ページをご覧ください。
- 空き時間のないディスクやファイナライズ済で録画できないディスクを入れると、ディスクの残量に「0h00m」または、「0：00」が表示されます。
- 録画できないディスクがセットされたときは、ディスク情報のディスク残量表示が「0h00m」の点滅表示になります。また、画面表示を「入」にしたときは、残量表示が「0：00」の点滅表示になります。
- ディスク残量表示は、ディスク空き容量の目安です。録画終了時点でディスク空き容量が残る場合があります。（録画中の残量表示と録画を停止した時点での残量表示は一致しません。）

ご注意

- 使用中のディスクや動作状態によっては、表示されない情報があります。
- 録画中は、ディスクの残量表示が実際の残量と異なる場合があります。正しい残量時間は、停止時に再度表示させたディスク残量で確認してください。
- ディスクがいっぱいになって録画が自動的に停止された後、電源を切るかディスクを一度取り出すと、ディスク残量が再計算されます。そのため、ディスクに再度録画できることがあります。
- VRモードのディスクでは、オリジナルタイトル・プレイリストタイトルをそれぞれ「99」まで作成できます。ビデオモードのディスクでは、オリジナルタイトルを「99」まで作成できます。
- 1枚のディスクに作成できるチャプター数は、メモリー空き容量により増減しますが、目安として200です。ただし、消去できないチャプターマーク（シーンの追加やシーンの消去を行ったときに自動的に作成されるチャプターマーク）は、1タイトルあたり「50」までしか作成できません。

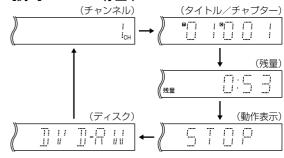
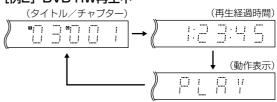
本体DVD表示部の切り換えかた

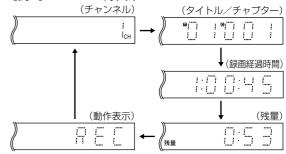
1 リモコンの操作モードを「DVD」にする

2 本体表示 を押す

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

本体DVD表示部

［例1］DVD-RW停止中

［例2］DVD-RW再生中

- 時間が記録されていないディスクを再生したときは、時間は表示されません。

［例3］DVD-RW録画中

ディスク再生の音声を切り換える

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード VIDEO CD CD

■複数の言語で音声が記録されたDVDを再生中は、再生する音声を選ぶことができます。
■再生設定画面でも音声を切り換えることができます（**44**ページ）。

1 リモコンの操作モードを「DVD」にする

2 再生中に 音声切換 を押す

- 現在再生されている音声番号が表示されます。

（画面例）

1　ステレオ

- ボタンを押すたびに、次のように音声が切り換わります。

■ DVDビデオのとき

- ディスクによって選べる言語が異なります。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

■ ビデオCD/音楽用CDのとき

- L+R：通常のチャンネル
- L：左チャンネルの音
- R：右チャンネルの音

■ 二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）のとき

- 主：主音声
- 副：副音声
- 主 副：主音声（左）＋副音声（右）

■ ステレオ放送、モノラル放送を記録したDVD-RW（VRモード）のとき

- 「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

放送受信時の表示について

二カ国語放送など二重音声の番組を受信中に音声切換ボタンを押すと、主音声、副音声などの音声を切り換えることができます。
デジタル接続で出力している場合には、音声を切り換えることはできません。

- 二重音声（二カ国語）放送を受信しているときは、次のように音声を切り換えることができます。
  主：主音声
  副：副音声
  主 副：主音声（左）＋副音声（右）
- ステレオ放送を受信しているときは「ステレオ」が表示されます。
- モノラル放送を受信しているときは音声は表示されません。

※ DVD出力（緑色ランプ点灯）時、ステレオ放送受信中やモノラル放送受信中は、音声は切り換わりません。

ヒント

- ディスクによっては、操作が異なる場合があります。詳しくはディスクに付属の説明書をご覧ください。
- 画面表示は約10秒後に消えます。
- DVDビデオでは、いつも使いたい音声の種類を設定することができます。詳しくは、「再生初期設定」の「ディスク優先言語」（**116**ページ）をご覧ください。
- 複数の音声が記録されているDVDビデオで、音声の切り換えが音声切換ボタンでできない場合、DVDディスクメニューから設定できることがあります。
- DTS音声を聞くためには、DTSデジタルサラウンド対応アンプなどが必要です。このときは、音声切換ボタンを押して「DTS音声」を選んでください。

ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDビデオを再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- ドルビーデジタル出力をしている場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。
- 二カ国語放送など二重音声の番組をDVD-RW（ビデオモード）やDVD-Rに録画しているときは、「録画初期設定」の「ビデオモード音声」（**118**ページ）で設定されている音声が選択されます。音声切換はできません。

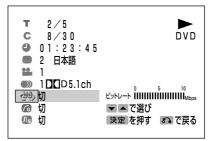
ドルビーバーチャルサラウンドを楽しむ

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■ドルビーバーチャルサラウンド(スペシャライザー)機能を使うと、アナログ接続したステレオタイプ(2ch)のテレビやオーディオ機器で仮想のサラウンド音声が楽しめます。

■「スペシャライザー」は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。*Spatializer*®、N-2-2™と四角に丸のマークは、デスパー・プロダクツ社の商標です。

1 再生中に 初期/再生設定 を押す

● 再生設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ で「 」を選び、決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「入」を選び、決定 を押す

● 音声が聞きにくい場合は「切」にしてください。

4 初期/再生設定 または リターン を押す

● 設定画面が消えます。

ヒント

デジタル接続をしたときにも、次の場合はドルビーバーチャルサラウンド機能が楽しめます。

- DVDのリニアPCM音声を再生したとき。
- 「再生初期設定」の「Dolby Digital出力」を「PCM」に設定し、ドルビーデジタル音声を再生したとき。

● モノラル音声で記録した音声では、音声が小さくなるなど聞きにくい音声になる場合があります。そのようなときは、設定を「切」にしてお楽しみください。

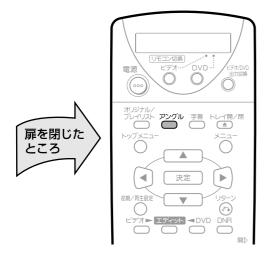
ご注意

次の場合、ドルビーバーチャルサラウンド機能は働きません。

- 「Dolby Digital出力レベル」を「シフト」に設定しているとき。
- ビデオCD、音楽用CDを再生したとき。
- テレビ放送や外部入力音声のとき。
- DVD-RW(VRモード)で二重音声放送を録画したディスクのとき。
- カラオケディスクのマルチカラオケ音声や、96kHz24ビットリニアPCM音声、DTS音声のとき。

アングルを切り換える

DVD-VIDEO

■複数のアングルがディスクに記録されている(マルチアングル)とき、お好きなアングルに切り換えることができます。
複数のアングルが記録されているシーンのときは、本体DVD表示部に「(アングルマーク)」(アングルマーク)が表示されます。
■再生設定画面でもアングルを切り換えることができます(**44**ページ)。

再生中に(アングル)を押す

● 現在再生されているアングル番号が表示されます。

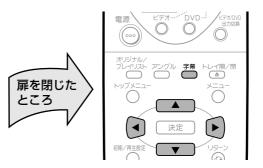
● ボタンを押すたびに、アングルが切り換わります。お好きなアングルを選んでください。
● アングルが1つしかないディスクのときは、 ×× と表示されます。

ヒント
● ディスクによっては、操作が異なる場合があります。
詳しくはディスクに付属の説明書をご覧ください。
● 画面表示は約10秒後に消えます。(決定ボタンを押して画面表示を消すこともできます。)

ご注意
● ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVD-VIDEO

■字幕が記録されているディスクでは、再生中に字幕を表示したり消したりすることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えることができます。
■再生設定画面でも字幕を切り換えることができます(**44**ページ)。

再生中に(字幕)を押す

● 現在再生されている字幕番号と字幕が表示されます。

● ボタンを押すたびに、字幕の言語が切り換わります。お好みの字幕を選んでください。
● 字幕のないディスクのときは、 ×× と表示されます。

字幕を消したいときは

字幕番号表示中に◀または▶で、「切」を選ぶ

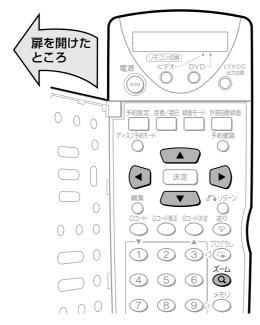
● 切 と表示されます。
● 字幕ボタン、▲または▼をくり返し押して選ぶこともできます。

ヒント
● ディスクによっては、操作が異なる場合があります。
詳しくはディスクに付属の説明書をご覧ください。
● 画面表示は約10秒後に消えます。(決定ボタンを押して画面表示を消すこともできます。)
● 複数の字幕が記録されているディスクで、字幕の切り換えが字幕ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
● DVDビデオでは、いつも使いたい字幕の種類を設定することができます。詳しくは、「再生初期設定」の「ディスク優先言語」(**116**ページ)をご覧ください。

ご注意
● 複数の字幕が記録されていても、ディスクによっては字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

映像を拡大する(ズーム)

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R

再生中に、お好きな映像を拡大して表示することができます。

1 再生中に(ズーム)を押す

- 映像が拡大されて「ズーム：1」が表示されます。

ズーム：1

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

「ズーム：1(約1.2倍)」→「ズーム：2(約1.5倍)」→「ズーム：3(約2.0倍)」→解除(表示は出ません)→「ズーム：1(約1.2倍)」

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で拡大部分を移動させる

- ズーム表示が赤くなると、それ以上移動できないことを表します。
- 通常の画面に戻すときは、ズームボタンを押して「解除」を選んでください。

ご注意

- ズームに切り換えるときに画面が乱れることがあります。
- 早送り▶▶ボタン、早戻し◀◀ボタン、トップメニューボタン、メニューボタン、初期／再生設定ボタン、■停止ボタンなどを押したときや、ディスクによってはズームが解除されます。
- 字幕はズームされません。
- DVDの再生中、▲▼◀▶を押してシーンを切り換える、などの表示が出る場面では、自動的にズームが解除されます。
- DVDが停止中にズームボタンを押すと、一時的に音声が途切れたり、画面表示が消える場合があります。

画質を調整する

お好みに合わせて、映像の画質を調整することができます。

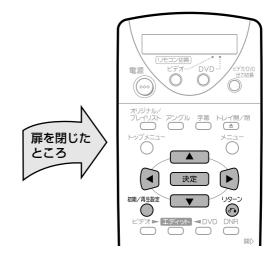
デジタルガンマを設定する

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R VIDEO CD

暗い映像を再生しているときに、暗い部分を明るくして見やすくすることができます。

1 再生中に(初期／再生設定)を押す

- 再生設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ で「(ガンマ)」を選び、決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「入」を選ぶ

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

「オート」↔「入」↔「切」

- 「オート」を選ぶと、映像の明るさに合わせて、本機が自動的にガンマレベルを調整します。

次ページの手順へつづく

4 「入」表示中に◀または▶でレベルを調整し、決定を押す

● ▶で明るくなります。

5 初期/再生設定 または リターン を押す

● 設定画面が消えます。

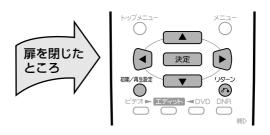
ご注意

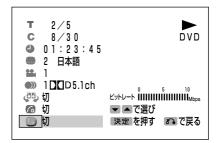
● プログレッシブ再生をしているときは、デジタルガンマは働きません。

デジタルスーパーピクチャーを設定する

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD

映像の細かな部分や輪郭を強調して、くっきりした映像を再現したり、ノイズを少なくして映像を見やすくすることができます。

1 再生中に 初期/再生設定 を押す

● 再生設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ で「Ⓢ」を選び、決定を押す

3 ▲ または ▼ で「入」を選ぶ

● ボタンを押すたびに、「入」↔「切」が切り換わります。

4 「入」表示中に◀または▶でレベルを調整し、決定を押す

● ▶で映像がくっきりします。

5 初期/再生設定 または リターン を押す

● 設定画面が消えます。

ヒント

● 昔の映画などノイズの目立つ映像などで、ノイズを少なくして見やすい映像を楽しみたいときは、「入」表示中に◀を押します。

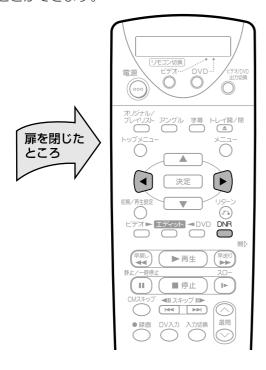
ご注意

● プログレッシブ再生をしているときは、デジタルスーパーピクチャーは働きません。

画質を調整する(つづき)

DNRを設定する

DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD

再生映像のノイズが気になるときに、DNR(デジタルノイズリダクション)機能を使うと、ノイズを低減することができます。

1　再生中にDNRを押し､｢入｣を表示させる

● 押すたびに、「入」↔「切」が切り換わります。

2　「入」表示中に◀または▶でレベルを調整する

● ▶で効果が強まります。
● 通常の画面に戻すときは、DNRボタンを押して「切」を選んでください。

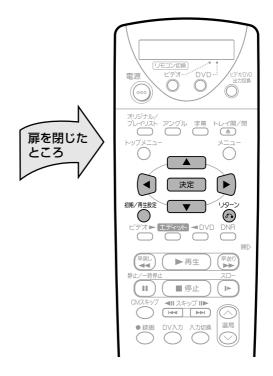
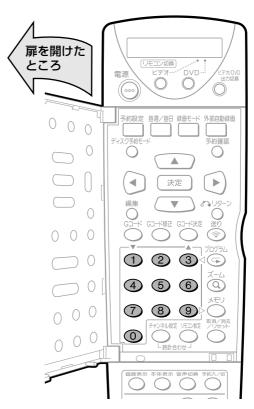
ご注意

● プログレッシブ再生をしているときは、DNRは働きません。
● 画面表示は約10秒後に消えます。(決定ボタンを押して画面表示を消すこともできます。)

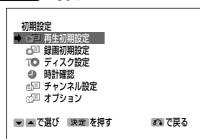
視聴制限を設定する

DVD-VIDEO

■暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限を設けているものがあります。
本機のレベルをディスクのレベルより小さくしておくと、これらのDVDビデオの視聴を制限することができます。

■ここでは、視聴制限のレベルとパスワードを設定します。この設定は再生中にはできません。

1 停止中に 初期/再生設定 を押す

- 初期設定画面が表示されます。

2 ▲または▼で「再生初期設定」を選び、決定を押す

- 再生初期設定画面が表示されます。

3 ▲または▼で「視聴制限」を選び、▶を押す

- パスワード入力画面になります。

- 設定を途中でやめるときは、リターンボタンを押してください。1つ前の画面に戻ります。

4 数字ボタンで4桁のパスワードを入力する

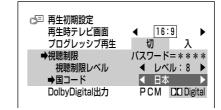
■ パスワードをはじめて入力するとき

- パスワードは「？？？？」と表示されます。はじめてパスワードを入力したときは、確認のため同じパスワードをもう一度入力します。
  パスワードが登録されます。
- パスワードは、メモなどして控えておくことをおすすめします。

5 ◀または▶で制限するレベルを選ぶ

- レベルの数字が小さいほど視聴制限が厳しくなります。

※ 一般的な視聴制限レベルについては、**131**ページを参照してください。

6 ① ▲または▼で「国コード」を選ぶ ② ◀または▶で国名を選び、決定を押す

- 視聴制限の設定が終了します。

7 初期/再生設定 を押す

- 設定画面が消えます。

国コードについて

本機では、次の国コードを設定できます。ディスクに指定されている国コードを指定してください。

アメリカ	スウェーデン	マレーシア
カナダ	オランダ	インドネシア
日本	ノルウェー	台湾
ドイツ	デンマーク	フィリピン
フランス	フィンランド	オーストラリア
イギリス	ベルギー	ロシア
イタリア	香港	中国
スペイン	シンガポール	
スイス	タイ	

パスワードについて

次の場合に、パスワードが必要です。

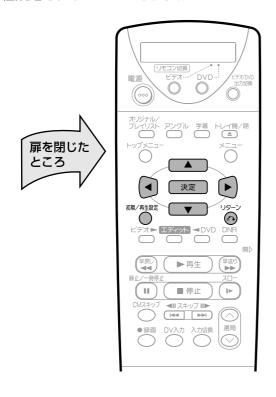
- 設定した視聴制限レベルを変更するとき。
- ディスクを再生中に視聴制限が働いて、視聴制限一時変更画面が表示されたとき。このとき、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

ヒント

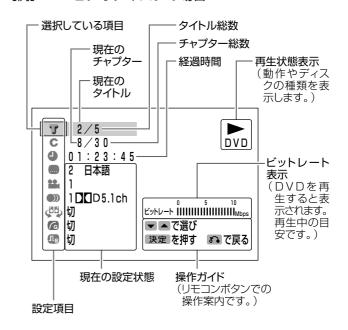
- パスワードを変更したいときや忘れてしまったときは、手順**4**で■停止ボタンを4回押します。パスワードが解除され、パスワードを設定しなおすことができます。
- 設定した視聴制限レベルが正しく働くかどうか、ディスクを再生してご確認ください。正しく働かないときは、国コードを変更して再度ご確認ください。

再生設定画面で設定する

DVD-VIDEO DVD-RW VRモード DVD-RW ビデオモード DVD-R VIDEO CD CD

ディスクを再生中、「再生設定画面」で再生に関する各種設定をすることができます。

再生設定画面の見かた

[例] DVDビデオディスクの場合

ヒント

- ディスクによって、表示される内容は異なります。

再生設定画面の基本操作

1 再生中に 初期/再生設定 を押す

- 再生設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ で項目を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で設定する内容を選び、決定 を押す

- 各項目の設定内容は、「再生設定画面項目一覧」（**45**ページ）をご覧ください。

4 初期/再生設定 または リターン を押す

- 設定画面が消えます。

設定の途中で リターン を押すと、1つ前の画面に戻ります。

再生設定画面項目一覧

タイトル／トラック(31ページ)

- 現在再生されているタイトルの番号と総タイトル数が表示されます。
  (タイトルのないディスクが入っているときは、「××」表示になります。)
- タイトル番号を選び、好きなタイトル(トラック)から再生することができます。

チャプター(31ページ)

- 現在再生されているチャプターの番号と総チャプター数が表示されます。
  (チャプターのないディスクが入っているときは、「××」表示になります。)
- チャプター番号を選び、好きなチャプターから再生することができます。

再生経過時間(31ページ)

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。
  (時間が記録されていないディスクが入っているときは、「××」表示になります。)
- 時間を指定し、頭出しすることができます。

字幕言語(39ページ)

- 現在選択されている字幕番号と、言語の種類が表示されます。
  (字幕のないディスクが入っているときは、「××」表示になります。)
- 複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中にお好みの言語を選ぶことができます。

アングル(39ページ)

- 複数のアングルがディスクに記載されているとき、アングルを切り換えて見ることができます。
  (複数のアングルで記録されていないディスクが入っているときは、「××」表示になります。)

音声(37ページ)

- 現在選択されている音声の種類が表示されます。
- 複数の音声が記録されているDVDでは、再生中にお好みの音声(言語などの音声方式)を選ぶことができます。

ドルビーバーチャルサラウンド(38ページ)

- ステレオタイプ(2ch)のテレビやオーディオ機器で、広がりのある音声を楽しむことができます。
- 現在の設定状態が表示され、「入／切」の切り換えができます。

デジタルガンマ(40ページ)

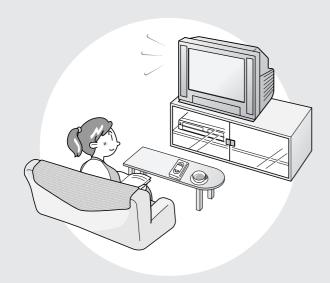
- 映像の暗くて見づらい部分を、明るく見やすいように補正することができます。
- 現在の設定状態が表示され、「入／切／オート」の切り換えができます。
  「入」のときはレベル調整ができます。

デジタルスーパーピクチャー(41ページ)

- 映像の細かな部分や輪郭を強調して、くっきりした映像を再現したり、ノイズを少なくして見やすい映像にすることができます。
- 現在の設定状態が表示され、「入／切」の切り換えができます。
  「入」のときはレベル調整ができます。

ヒント

- トップメニューボタンやメニューボタン、ダイレクト選択ボタン(アングルや字幕など)を押すと再生設定画面が解除されます。
- DVDビデオディスクを再生しているときに再生設定画面を表示させていると、DVDビデオディスクから指示される操作ができないことがあります。そのようなときは、再生設定画面を解除してから操作してください。

ビデオの再生

■ここでは、ビデオテープを再生するときのいろいろな操作や機能について説明をしています。

ビデオ操作で手順1～5の説明は、特に必要のない限り、47ページ以降では記載していません。

ビデオを再生する

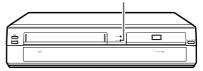
ご覧になりたいビデオテープを入れて、再生をしてください。

1 **① テレビの電源を入れる**
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2 **電源を押し､本機の電源を入れる**

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3 **ビデオ/DVD出力切換を押し､「ビデオ出力」にする**

本体のビデオ出力ランプが点灯(オレンジ色)します。

- ボタンを押すたびに「ビデオ出力」↔「DVD出力」と切り換わります。

4 **リモコン切換ビデオを押し､操作モードを「ビデオ」にする**

- リモコン表示部のビデオボタン線上に▯マークが表示されます。

次ページの手順へつづく

5 再生するビデオテープを入れる

- 右記を参照ください。

6 ［▶再生］を押す

- 再生が始まります。

再生を一時停止するときは
静止／一時停止❚❚ボタンを押します。

再生を停止するときは
■停止ボタンを押します。

電源を切るときは
電源ボタンを押します。

ヒント

- S-VHSの市販ソフトも楽しめます。
- S-VHS本来の高画質(水平解像度400本以上)は得られません。
- S-VHS録画はできません。
- 再生および特殊再生(スロー、コマ送り)時に、画面ノイズや乱れが出る場合もあります。
- テープの未録画部分では、画面がブルーバック(青い画面)になります。(ブルーバック「入」のとき。**121**ページ)

■ビデオ再生時には、いろいろな機能が働きます。

「オートパワーオン」
ビデオテープを入れると、自動的に電源が入ります。

「オート再生」
ツメの折れたテープを入れたときは、自動的に再生を始めます。

「オートリワインド」
再生をしてビデオテープが最後(終端)まで到達すると、自動的にテープの最初(始端)まで巻き戻しされ、テープが出てきます。

「オートイジェクト」
ビデオテープの片側を押したり、無理に早く入れたりしたときにテープが正しく入らず、つまる場合があります。このようなときはしばらく待つと、ビデオテープが自動的に出てきます。

■この他に、次の便利な機能を初期設定画面の「オプション」の「ビデオオプション」で設定することができます。(123ページ)

「S. ピクチャー」
テープの再生映像をくっきりとさせる機能。

「オートリピート」
1本のテープを自動的にくり返し再生する機能。

「CMオートスキップ」
本機で録画した番組が二重音声放送やモノラル放送のとき、ステレオ放送のコマーシャルを自動的にとばす機能。
※ **104**ページのビデオからDVDへの編集(ダビング)中は働きません。

ビデオテープの入れかた・出しかた

■ 入れかた

ビデオテープの中央部をゆっくり押して入れる

- 本体ビデオ表示部に「[oo]」が表示されます。

テープが見える面を上にして
テープ背ラベルを手前にします。

■ 出しかた

本体の［▲テープ取出し］を押す

- 出てきたビデオテープを水平に取り出します。

⚠警告 ビデオテープ挿入口に異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意 小さなお子さまがビデオテープ挿入口から、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

録画済みテープを誤って消さないために

- ビデオテープには、誤消去防止用の「ツメ」があります。

- 大切な録画を誤って消さないために「ツメ」を折ります。

ドライバーなどで
「ツメ」を折ります。

- 再度録画したいときは、セロハンテープを二重に貼ります。

セロハンテープを
二重に貼ります。

見たいところを探す

早送りや巻戻し、コマ送り再生などいろいろな再生をすることができます。
見たい場面を探すときなどに便利です。

早送り・巻戻しをする

① 再生を止めて早送りまたは早戻しを押す

- 早送り、巻戻し中にもう一度押すと、高速の早送り、巻戻しに切り換わります。

② 止めるときは■停止を押す

ヒント

- 一度高速の早送り・巻戻しに切り換わると、通常の早送り・巻戻しスピードには戻りません。
- テープの巻き量や、テープの種類によっては、高速の早送り・巻戻しができない場合があります。
- 早送り・巻戻しをしているとき、テープによっては一旦停止し、再度、早送り・巻戻しに入る場合があります。これはテープ保護のためで、故障ではありません。

ビデオサーチで場面を探す

① 再生中に早送りまたは早戻しを押す

- 押すたびに、ビデオサーチの速さが変わります。

  SP(標準)モード……「5倍速↔7倍速」
  EP(3倍)モード……「9倍速↔21倍速」

② 通常の再生に戻すときは、►再生を押す

ヒント

- ビデオサーチでは、画面に動作表示が出ません。
- 音声は出ません。

静止画再生・コマ送り再生をする

1 再生中に静止／一時停止を押す

- 画面が静止し、静止画再生になります。

2 静止画再生中に静止／一時停止を押す

- 画面がコマ送りされます。押すたびに1コマずつ進みます。

3 通常の再生に戻すときは、►再生を押す

ヒント

- 音声は出ません。
- 静止画再生では、画面に動作表示が出ません。
- 静止画再生中に映像が上下にゆれるときは、本体の（トラッキング∧／∨）ボタンを押して、ゆれがなくなるように調整してください（**49**ページ）。
- 静止画再生を5分間以上続けると、ヘッドやビデオテープの保護のため、自動的に通常の再生に戻ります。

スロー再生をする

① 再生中にスローを押す

- スロー再生になります。

② 通常の再生に戻すときは、►再生を押す

ヒント

- 音声は出ません。
- スロー再生では、画面に動作表示が出ません。
- スロー再生を5分間以上続けると、ヘッドやビデオテープの保護のため、自動的に通常の再生に戻ります。
- 他のビデオで録画したビデオテープをスロー再生すると、ノイズが出る場合があります。

場面をとばして見る(スキップサーチ)

再生中にコマーシャル部分をとばして見るなど、最大で約2分間の場面をとばして見ることができます。このとき音声は出ません。

① 再生中に CMスキップ を押す

- 1回押すと、約30秒ぶんの場面を早送り再生します。
- 連続して4回までCMスキップボタンを押して、約2分間の場面をとばすことができます。

② 通常の再生に戻すときは、▶再生 を押す

ヒント

- 未録画部分になると、スキップサーチは解除されます。

トラッキングを調整する

通常、再生中はトラッキングが自動調整されますが、別のビデオで録画されたビデオテープなどを再生してノイズが出る場合は、手動でトラッキングを調整することができます。

「選局」と「トラッキング」は兼用のボタンになっています。

再生中やスロー再生中に、本体の ∨選局(トラッキング) または 選局∧(トラッキング) を押し、ノイズが少なくなるように調整する

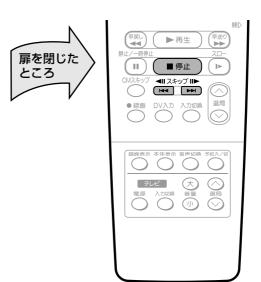
- 自動調整に戻すときは、(トラッキング∧／∨)ボタンを2つ同時に押してください。

ヒント

- 本機以外のビデオで録画したビデオテープや、市販のビデオソフトなどを再生したときに、Hi-Fi音声が正常に聞こえない場合があります。そのようなときは、リモコンの音声切換ボタンを押してノーマル音声を選んでください。
- EP(3倍)モードで録画したビデオテープを再生したとき、映像が上下に乱れることがあります。手動でトラッキング調整をしてください。それでも映像が上下に乱れるときは、本体の再生ボタンを2秒間押してください。その際画面表示が上下に乱れる場合がありますが、異常ではありません。電源を切ったりビデオテープを取り出すと、もとの状態に戻ります。

頭出しをする

■複数の番組を録画したビデオテープから、見たい番組をすばやく探すことができます。

■本機で番組を録画すると、録画の始まり位置に頭出し信号(VISS)を自動書込みします。この頭出し信号を利用して番組の最初の部分を探し出し、指定した開始点から自動的に再生を始めます。
停止または再生中に操作してください。

◀II スキップ(⏮) または スキップ II▶(⏭) を押し、見たい番組を頭出しする

- スキップ⏮ボタンで前の番組の頭出しが、スキップ⏭ボタンで次の番組の頭出しができます。ボタンを押すたびに、それぞれ最大19まで頭出しができます。
- 頭出しが完了すると、自動的に再生が始まります。
- 途中で止めたいときは、■停止ボタンを押してください。

頭出しのしくみ

指定された番組まで早送り・巻戻しをして再生を始めます。

ご注意

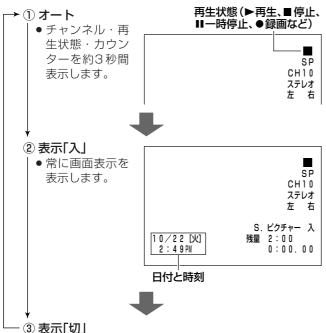
- 頭出し表示の数字は、信号をとび越すごとに1つずつ減ります。
- ビデオテープの一番最初に記録されている番組は、頭出しできないこともあります。
- 頭出し位置は多少ズレる場合があります。
- 頭出し信号どうしの間隔が短い(約5分以内)ときは、正しく頭出しできないことがあります。

画面表示やテープカウンター・残量表示を見る

ビデオの動作状態やテープ残量、時間など、ビデオやビデオテープの情報を見ることができます。

画面表示の切り換えかた

（画面表示）を押す

- テレビ画面にビデオの情報が表示されます。ボタンを押すたびに、画面表示が切り換わります。
- 画面表示を消すには、画面表示ボタンをくり返し押し、表示を消します。

③ 表示「切」
- なにも表示しません。
- 本機を再生側として外部機器に接続し、編集（ダビング）をするときなどは、表示「切」にすることをおすすめします。

ヒント
- ビデオサーチ、スキップサーチ、静止画再生・スロー再生などのときは表示されません。
- 初期設定画面のオプション内、「DVD／ビデオオプション」の「ブルーバック」を「切」に設定している場合、画面表示は映像信号が入っていないと表示されません。

本体ビデオ表示部の切り換えかた

1 リモコンの操作モードを「ビデオ」にする

2 （本体表示）を押す

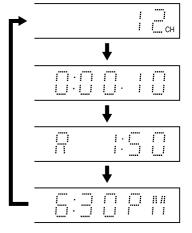
- 押すたびに次のように切り換わります。

本体ビデオ表示部

チャンネル表示
- 現在選択しているチャンネルを表示します。
- 再生中は表示されません。

テープカウンター表示
- 現在のテープ位置を時間で表示します。

テープ残量表示
- テープの残量を表示します。

時計表示
- 現在時刻を表示します。

ヒント
- 再生、早送り、巻戻しのときは、動作表示を経由してテープカウンター表示になります。

テープ残量を確認するときは

画面表示を「入」にするか、本体ビデオ表示部を「テープ残量表示」に切り換える

- 切り換えると、テープ残量の計算を始めます。計算が終わると、テープ残量が表示されます。

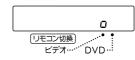
ヒント
- ビデオテープが入っていないときや計算中、または計算ができないときは、残量時間は表示されません。
- テープ残量は、表示している録画モード「SP（標準）／EP（3倍）」に合わせてテープ残量時間を計算し、表示します。
- 録画中にテープ残り時間が約5分になると点滅表示に変わります。
- テープ残量は目安としてお使いください。T-30、T-60、T-90、T-120以外のテープやテープの種類によっては、正しい表示をしないことがあります。
- 早送り／巻戻し中は、多少誤差が大きくなる場合があります。
- VHS-C、S-VHS-Cテープをカセットアダプターで使用したときは、残量が正しく表示されない場合があります。

テープカウンターの確認のしかた

ビデオテープの走行状態を時間、分、秒単位で確認できます。

1

■ 本体ビデオ表示部で確認するとき

① リモコンの操作モードを「ビデオ」にする

② 本体表示 を押し、テープカウンター表示にする

■ テレビ画面で確認するとき

画面表示 を押し、表示「入」にする

2

カウンターをゼロに戻すときは、リモコンの操作モードを「ビデオ」にして 取消／消去／リセット を押す

- テープカウンターがリセットされ、ゼロ「0：00．00」になります。
- ビデオテープを入れると、自動的にリセットされます。

ヒント

テープカウンター表示について

- 録画していない部分では、カウンターの数字は変わりません。
- 「0：00．00」の位置より前にビデオテープを巻き戻すと、「−」（マイナス）表示が出ます。

テープ再生の音声を切り換える

ステレオや二重音声の番組を記録したテープやビデオソフトを再生したとき、音声を切り換えることができます。

① リモコンの操作モードを「ビデオ」にする

② 再生中に 音声切換 でお好みの音声に切り換える

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

［左 右］ ⟶ ［左　］ ⟶ ［　右］
⟶ 表示なし（ノーマル音声）

ヒント

- 他のビデオ機器で録画したビデオテープや市販のビデオソフトなどを再生したときに、Hi-Fi音声が正常に聞こえない場合があります。そのようなときは、音声切換ボタンを押してノーマル音声を選んでください。
- トラッキング調整がズレると、Hi-Fi音声がノーマル音声に切り換わることがあります。

再生時の画面表示と音声の出かた

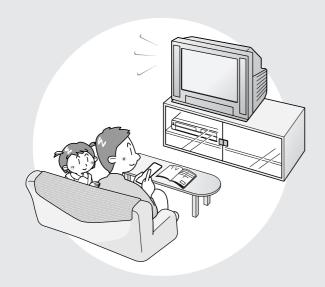
音声切換表示		音声出力 二重音声 左	二重音声 右	ステレオ 左 右
Hi-Fi 音声	［左 右］	おはよう	Good morning	ステレオ
	［左　］	おはよう	おはよう	左の音声
	［　右］	Good morning	Good morning	右の音声
ノーマル 音声	左右表示 消える	おはよう	おはよう	モノラル

放送受信時の表示について

ステレオ放送や二重音声の番組を受信中に音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

- 二重音声（二カ国語）放送を受信しているときは、次のように音声を切り換えることができます。
  主：主音声
  副：副音声
  主 副：主音声（左）＋副音声（右）
- ステレオ放送を受信しているときは「ステレオ」が表示され、「左」「右」を切り換えることができます。
- モノラル放送を受信しているときは音声は表示されません。

※ DVD出力（緑色ランプ点灯）時、ステレオ放送受信中やモノラル放送受信中は、音声は切り換わりません。

録画・予約録画

■ディスクおよびテープに録画することができます。ここでは、いろいろな録画と予約について説明をしています。

- テレビ番組などを録画する。
- クイックタイマーで録画終了時刻を設定する。
- タイマーで予約録画する。
- Gコードシステムを使って予約録画する。
- ディスクに予約設定を記憶させて予約録画する。
- デジタルBS/CSチューナーと外部自動録画で録画する。

■DVDに録画、予約録画する場合は、**54**～**67**ページをご覧ください。
ビデオに録画、予約録画する場合は、**68**～**75**ページをご覧ください。

ディスクに録画・予約する前に必ずお読みください

ディスクに録画や予約を行うときに必要な情報について説明します。

録画するディスクの種類について

録画に使用するディスクには、DVD-RWディスクとDVD-Rディスクがあります。

■DVD-RWディスク

- 記録フォーマットは、VRモードまたはビデオモードの2つから選ぶことができます。(Ver.1.0はVRモードのみ)。
- 高品質な映像・音声を約1,000回くり返し録画することができます。
- VRモードのディスクでは、オリジナルタイトル・プレイリストタイトルをそれぞれ「99」まで作成できます。ビデオモードのディスクでは、オリジナルタイトルを「99」まで作成できます。

■DVD-Rディスク

- 記録フォーマットはビデオモードのみで、1回だけ録画することができます。タイトルは「99」まで作成できます。

記録フォーマットなどについては、**10**ページをご覧ください。

■DVD-RW/DVD-Rディスクをビデオモードで録画するときのご注意

- DVD-RWディスクをビデオモードで録画するときは、Ver.1.1以降のディスクを使用してください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズを行うまで、残り時間に追加録画することができますが、上書きすることはできません。
- DVD-RWディスクをビデオモードで録画するときは、前もってディスクをビデオモードで初期化するように設定してください(**119**ページ)。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、前もって音声の種類を設定してください(**118**ページ)。主音声または副音声のどちらかでしか記録できません。
- 録画中に■停止ボタンを押しても、すぐに録画は止まりません。最長30秒(LPモードのときは最長60秒)録画が続くことがあります。
- **BSデジタル放送などのワイド(16:9)映像をビデオモードで録画したとき**
  - 4:3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。(再生時テレビ画面設定(**115**ページ)にかかわらず、16:9の出力になります。)
  - DVDビデオが再生可能なパソコンで再生した場合、縦長の映像になります。
  - 本機とテレビをD映像端子で接続して再生したとき、テレビが自動でワイド画面に切り換わらないことがあります。このときは、テレビ側で画面サイズを手動で切り換えてお楽しみください。

ご注意

- DVD-RW／DVD-Rディスクで録画をするとき、●録画ボタンを押して録画が始まるまでに時間がかかります(DVD-RWは約2秒／DVD-Rは●録画ボタン1回押しの場合、約10秒)。録画を始めたいところより、早めに●録画ボタンを押してください。
- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの早い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

録画モードについて

ディスクでの録画には、4種類の録画モードがあります。録画時間と画質は次のとおりです。
録画時間は、4.7GBのディスクを使用したときの録画可能時間の目安です。

録画モードと録画可能時間	VRモード	ビデオモード	補足説明
FINE 約60分（約90分）	○	○	高画質な映像で録画したいとき
SP 約120分（約180分）	○	○	標準的な映像の録画です
LP 約240分（VRモードのみ約300分）	○	○	多少画質は劣りますが、長い時間録画したいとき
EP 約360分	○	×	長時間録画したいとき（時間優先）

録画可能時間の（　）内の数値は、ジャスト録画時の録画可能時間の目安です。

DVDの録画は、一部の録画モードを除きVBR（可変ビットレート）を使用して行われるため、画像によって録画可能時間が変わります。上記の録画可能時間は目安としてご覧ください。
正確な録画時間は、録画終了後にディスク情報をご覧ください（**35**ページ）。

次のような場合、録画時間が変わります。

- 受信状態の悪いテレビ放送など、録画する映像の画質が悪い場合。
- 編集作業を行ったディスクで録画する場合。
- 静止画などの映像や、音声のみなどを録画し続けた場合。

ご注意

- VRモードとビデオモードを1枚のディスクに混在して使用することはできません。DVD-RWディスクでは、初期化することによって記録フォーマットを変えることができますが、録画されていた内容はすべて消去されます。
- ビデオモードでは二重音声を記録できません。初期設定の「録画初期設定」の「ビデオモード音声」（**118**ページ）で記録する音声を設定します。

ディスクの空き時間について

■VRモード

- ディスクに空き容量がある限り、追加録画ができます。（ファイナライズを行った後も追加録画ができます。）
- 不要なオリジナルの映像を消去すると、ディスクの空き時間を増やすことができます。（ファイナライズを行った後も消去できます。）

■ビデオモード

- ファイナライズを行うまでは、ディスクに空き容量がある限り本機での追加録画ができます。（ファイナライズを行うと追加録画／消去ができません。）
- 空き時間を録画前の状態に戻したり、上書き録画をしたりすることはできません。
- 編集機能の「タイトル消去」は、不要なタイトルを表示させないようにするためのものです。空き容量は増えません。（DVD-RWでは、ファイナライズ前であれば最後のタイトルを消去した場合に限り、空き容量が増えます。）

録画できない映像について

- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、「録画禁止」の表示が出て録画することができません。［例］DVDビデオ・CS放送のペイパービューなど

録画禁止

- 録画中の映像に途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画が一時停止状態になります。
「録画禁止」信号がなくなると再び録画を開始します。ただし「録画禁止」信号の入っている部分の映像は録画されません。
このような場合は、画面上に
「この映像は録画が許されていません。」
と表示されます。
- 本機は複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

コピー制御信号には、「録画自由」・「1回録画可」・「録画禁止」の3種類があります。
本機では著作権保護を目的とし、これらの信号に対して下表のように動作します。

- 「1回録画可」の制御信号を含んだ番組（映像）は、DVD-RW Ver.1.1CPRM対応のディスクを使用して、VRモードでのみ録画することができます。

コピー制御信号に対しての本機での録画の可否

ディスクと記録フォーマットの種類	「録画自由」（特に表示されません）	「1回録画可」	「録画禁止」
DVD-RW Ver.1.0（VRモード）	◎	×	×
DVD-RW Ver.1.1（VRモード）	◎	×	×
DVD-RW Ver.1.1（ビデオモード）	◎	×	×
DVD-RW Ver.1.1CPRM対応（VRモード）	◎	○	×
DVD-RW Ver.1.1CPRM対応（ビデオモード）	◎	×	×
DVD-R Ver.2.0（ビデオモード）	◎	×	×

◎：録画・再生できます。自分で録画したビデオカメラの映像や地上波テレビ番組などが、これにあたります。
○：録画・再生できます。ただし録画した番組は、他のDVDプレーヤー（DVD-RWプレーヤーを含む）やCPRMに対応していないDVDレコーダーでは再生できません。また、『1回録画可』の番組を録画するときは、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクをお使いください。Ver.1.0およびCPRM対応の表記がないVer.1.1ディスクでは録画できません。
×：録画できません。市販のDVDソフトやビデオカセットにも録画禁止の映像があります。

DVDに録画する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■DVDにテレビ放送の番組を録画することができます。（DVDとビデオで別々のチャンネルの番組を同時に録画することはできません。）
■録画の前に必ず「ディスクに録画・予約する前に必ずお読みください」(**52**ページ)をお読みください。

録画を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。（別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」）。
- 録画用のディスクに空き時間があるか、ディスク情報(**35**ページ)で確認してください。
  VRモードのディスクは、タイトルを消去すると空き時間を増やすことができます(**102**ページ)。
- 1つのディスクにVRモードとビデオモードは混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化(**119**ページ)して記録フォーマットを変更してください。
- ビデオモードのディスクで二カ国語放送を録画するときは、音声の種類(主音声または副音声)を設定してください(**118**ページ)。

1

① テレビの電源を入れる

- オーディオ機器などをつないだ場合、それらの電源も入れてください。

② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

電源を押し、本機の電源を入れる

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3

ビデオ/DVD出力切換を押し、「DVD出力」にする

本体のDVD出力ランプが点灯(緑色)します。

- ボタンを押すたびに、「DVD出力」↔「ビデオ出力」と切り換わります。

4

リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

- リモコン表示部のDVDボタン線上にマークが表示されます。

次ページの手順へつづく

5

① トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。

② トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます（**118**ページ）。
  しばらくお待ちください(約1分から1分30秒)。

6

選局∧ または 選局∨ を押し、録画したいチャンネルを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

7

録画モード をくり返し押し、録画モードを選ぶ

「FINE/SP/LP/EP」から選択します。

VRモードのとき

「FINE」↔「SP」↔「LP」↔「EP」

ビデオモードのとき

「FINE」↔「SP」↔「LP」

8

●録画 を押す

DVD-RWディスクのとき

- テレビ画面に「●(録画マーク)」が表示され、録画が始まります。

DVD-Rディスクのとき

- 録画待機状態になります。もう一度●録画ボタンを押すと、録画が始まります。

- 録画を停止するまで、またはディスク空き時間がなくなるまで録画は続きます。テレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

録画を一時停止するときは

静止／一時停止IIボタンを押します。もう一度押すと解除されます。
VRモードのディスクの場合、録画中に一時停止をすると、その場所に自動的にチャプターマークが入ります。

録画を停止するときは

録画を5秒以上行ってから、■停止ボタンを押します。

※ ビデオモードの場合、30秒(LPモード時は1分)単位で録画を行うため、録画を停止した後の映像が録画される場合があります。この場合、録画を一時停止してから停止すると30秒(LPモード時は1分)以下の黒い映像が録画されます。

ディスクを本体から取り出すときは

録画や編集を行った後、トレイ開／閉⏏ボタンを押します。ディスクへ録画や編集に関する情報を記録してからディスクトレイが開きますので、多少時間(約30秒)がかかります。

DVDに録画中、他のテレビ番組を見るときは

テレビの入力切換を「テレビ」にし、テレビのチャンネルボタンで見たいチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画中にビデオを見るときは

再生するビデオテープを入れ、テレビの入力と本機の出力、リモコンの操作モードをビデオ側に切り換え、再生をします。

ヒント

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**6**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「他機をつないで行う操作」(**108**ページ)をご覧ください。
- DVD-Rディスクで、録画を開始する操作を「録画初期設定」の「DVD-R録画開始」(**118**ページ)で設定して、手順**8**で●録画ボタンを押す回数を1回に変えることができます。
- 録画が終わってすぐに▶再生ボタンを押して再生すると、ディスクの一番最初のタイトルから再生が始まります。録画が終わってすぐに再生するときは、ディスクナビ画面から再生すると便利です。

次ページへつづく

DVDに録画する(つづき)

ヒント

録画開始したい場面から正確に録画を開始したい場合

DVD-RW/DVD-Rに録画するときは、録画開始までに時間がかかります。(DVD-RWは約2秒／DVD-Rは約10秒)

- DVD-RWに録画するときは、早めに●録画ボタンを押した後、すぐに静止／一時停止❚❚ボタンを押して録画一時停止状態にします。録画したい場面になったら、●録画ボタンを押し録画を開始させてください。
  (DVD-RWでは、この録画一時停止状態からの■停止ボタンが働きません。停止するときは、5秒以上録画を行ってから■停止ボタンを押してください。)
- DVD-Rに録画するときは、「録画初期設定」項目の「DVD-R録画開始」を「2回押し」に設定してください。●録画ボタンを1回押すと約10秒後に録画一時停止状態になります。この状態から●録画ボタンを押すと、正確に録画したい場面から録画開始することができます。
  「録画初期設定」項目の「DVD-R録画開始」を「1回押し」に設定している場合は、●録画ボタンを押すと約10秒後に自動的に録画が始まります。(静止／一時停止❚❚ボタンは働きません。)
- 電波状態の悪い放送を受信したときは、映像の動きがおかしくなる場合がありますが故障ではありません。
  初期設定画面のオプション内、「DVDオプション」の「3D Y/C」を「切」に設定しなおすことで改善される場合があります。

DVDとビデオテープを同時に録画するときの可否(○×)については、下表のようになっています。

内容	可否
DVDとビデオテープに、別々のチャンネルのテレビ放送を同時に録画する。	×
DVDを外部入力の録画にして、同時にビデオテープにテレビ放送を録画する。 〈手順〉 ① DVD側を外部入力にして、●録画ボタンを押す ② ビデオ／DVD出力切換ボタンを押して「ビデオ出力」に切り換える ③ リモコンの操作モードを「ビデオ」にする ④ チャンネルを選び、●録画ボタンを押す	○
ビデオテープを外部入力の録画にして、同時にDVDにテレビ放送を録画する。 〈手順〉 ① ビデオ側を外部入力にして、●録画ボタンを押す ② ビデオ／DVD出力切換ボタンを押して「DVD出力」に切り換える ③ リモコンの操作モードを「DVD」にする ④ チャンネルを選び、●録画ボタンを押す	○
DVDとビデオテープに外部入力の映像を同時に録画する。	○

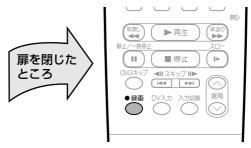
ご注意

- VRモードで録画を一時停止してから停止したときは、最後が黒い映像になる場合があります。

録画中に終了時刻を設定する(クイックタイマー)

DVD-RW VRモード / DVD-RW ビデオモード / DVD-R / ビデオテープ

録画中に、15分単位で録画終了時刻を設定することができます。

録画中に●録画を押し、録画を止めたい時刻を選ぶ

- 押すたびに、15分単位で録画終了時刻が設定できます。
- 終了時刻を設定すると、設定した側の本体表示部に終了時刻が表示されます。
- 設定した時刻になると、自動的に録画が止まります。

クイックタイマーを解除するときは

① 録画している方の出力(DVDまたはビデオ)に切り換え、それに合わせてリモコンの操作モードを切り換えます。

② ●録画ボタンを押してから、リモコン扉内の取消／消去／リセットボタンを押します。

録画を止める時刻を変更したいときは

① 録画している方の出力(DVDまたはビデオ)に切り換え、それに合わせてリモコンの操作モードを切り換えます。

② ●録画ボタンを押してから、取消／消去／リセットボタンを押します。

③ もう一度●録画ボタンを押して、設定しなおします。

ご注意

- DV入力時はクイックタイマーは働きません。

DVDにタイマー予約で録画する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

チャンネル、日付、時刻などを入力してDVDに予約録画をすることができます。1年以内にDVDのGコード予約（**60**ページ）と合わせて、最大8つの予約ができます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。（別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」）。
- **便利な機能「ジャスト録画」について**
  ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えてできるだけ多く録画するように設定できます「ジャスト録画」（**117**ページ）。
- 録画用のディスクに空き時間があるか、ディスク情報（**35**ページ）で確認してください。
  VRモードのディスクは、タイトルを消去すると空き時間を増やすことができます（**102**ページ）。
- 1つのディスクにVRモードとビデオモードは混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化（**119**ページ）して記録フォーマットを変更してください。
- ビデオモードのディスクで二カ国語放送を録画するときは、音声の種類（主音声または副音声）を設定してください（**118**ページ）。

1 電源 を押し、本機の電源を入れる

2 リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

- リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

3 ① トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。

② トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます（**118**ページ）。
  しばらくお待ちください（約1分から1分30秒）。

次ページの手順へつづく

DVDにタイマー予約で録画する(つづき)

4

予約設定 を押す

- リモコン表示部が予約設定表示になります。

リモコン表示部

5

▲ または ▼ で予約したいチャンネルを選ぶ

[例] 10チャンネルを選んだとき

- 本機の入力端子につないだ外部機器を使って予約をするときは、外部機器を接続している外部チャンネル「L1」または「L2」を選びます。
- 希望のチャンネルが表示できないときは、別冊「1.接続・準備編」の「予約時にリモコンに表示するチャンネルを設定する」でリモコンのチャンネルを設定してください。

6

▶ を押して「日付」に移動し、▲ または ▼ で録画日を設定する

[例]4月4日を選んだとき

■毎週または毎日録画をしたいとき

毎週/毎日 を押す

- 日付ではなく、毎週・毎日決まった時間に予約録画をすることができます。
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→「毎週月…毎週日」→「月〜日(毎日)」→「月〜土」→「月〜金」→「今日の日付」→(最初に戻る)

7

① ▶ を押す

- 開始時刻表示に変わります。

② ▲ または ▼ で開始時刻の「時」を選ぶ

[例] 開始時刻を午後7時30分にするとき

③ ▶ を押して開始「分」に移動し、▲ または ▼ で開始時刻の「分」を選ぶ

④ ▶ を押す

- 終了時刻表示に変わります。

⑤ ▲ または ▼ で終了時刻の「時」を選ぶ

[例] 終了時刻を午後8時にするとき

⑥ ▶ を押して終了「分」に移動し、▲ または ▼ で終了時刻の「分」を選ぶ

間違えたなど変更したいときは

- ◀ を押して、変更したい項目まで点滅表示を戻します。

途中で設定を中止するときは

- 予約設定ボタンを押します。

8

録画モード をくり返し押し、録画モードを選ぶ

「FINE/SP/LP/EP」から選択します。

- ビデオモードでは、「EP」を選んでも「LP」で録画されます。

[例] SPを選んだとき

次ページの手順へつづく

9 リモコンを本体のリモコン受光部に向け 送りを押す

- 本体DVD表示部に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順番に表示されます。本体DVD表示部に「⏲」が表示され、予約待機状態になります。

続けて他の番組を予約したいときは

- 手順**4**〜**9**をくり返します。（予約待機状態でも予約は受け付けます。）

予約操作を終了するときは

- 予約設定ボタンを押す、またはリモコンの扉を閉じます。

10

- この後、本機を使用しないときは

電源を押し、本機の電源を切る

予約録画実行中に録画を停止するときは

リモコンの操作モードを「DVD」にして、■停止ボタンを押します。予約待機状態が解除されます。他にも予約があるときは、予約入／切ボタンを押して予約待機状態にしてください。

予約待機中にDVDを使いたいときは

- リモコンの操作モードを「DVD」にして、予約入／切ボタンを押し、「⏲」表示を消します。つづいて電源を入れ、本機の操作をしてください。操作が終わったら、予約入／切ボタンを押し、「⏲」を表示させて予約待機状態に戻してください。
- DVDの予約待機中にビデオを操作することもできます。リモコンの操作モードを「ビデオ」にして操作してください。 使い終わったら、電源を切ってください。（DVD の予約録画実行中に使用するときは、出力切換も「ビデオ出力」にして操作してください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

予約内容の確認や修正・取り消しをしたいときは

76ページをご覧ください。

ヒント

- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 予約待機にすると、DVD操作ができなくなります。
- すでにビデオ側が予約待機状態のときは、手順**9**の送信をした時点で、本機の電源が切れます。（この状態で再度電源を入れたいときは、「予約待機中にDVDを使いたいときは」の操作をしてください。）

ご注意

- 予約録画時間は、2分以上の設定にしてください。
- タイマー予約録画中は、静止／一時停止⏸ボタンが働きません。

次のような場合、送りボタンまたは予約入／切ボタンを押すと「⏲」表示が点滅します。

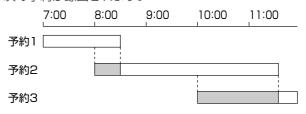
- セットしたディスクの空き容量がない。
- セットしたディスクが保護されている。
- ディスクが入っていない。
- 本体DVD表示部に「LOAD」と表示されている。

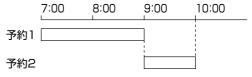
- 1時間以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定しなおしてください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 予約チャンネルに「DV」は設定できません。

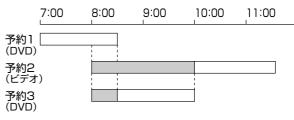
予約が重なったり連続しているときは

先に始まる予約が優先されるため、次の▭で示した部分は録画されません。

■**DVD側だけ、またはビデオ側だけの予約で、予約の時間が重なっているとき**

先に始まる予約が最後まで録画されてから、重なっている次の予約が録画されます。

■**DVD予約終了時刻と次の予約の開始時刻が同じとき**

先に始まる予約の録画が終了した後、VRモードのときは約10秒後に、ビデオモードのときは最長30秒後(LPモードのときは最長60秒後)に次の録画が始まります。

■**DVD側の予約とビデオ側の予約が重なったとき**

先に始まる予約の録画が終了した後、その次に重なっている予約はDVD側の予約が優先して録画されます。

■**ビデオ側の予約終了時刻と DVD 側の予約開始時刻が同じとき**

- DVD 側の予約録画開始が約 1 分程遅れます。
- DVD側の予約開始時刻を優先したいときは、ビデオの終了時刻を 2 分程前に設定することをおすすめします。

DVDにGコード®システムで予約録画をする

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されている番組予約番号(Gコード番号)を使う予約録画です。予約したい番組の日時、チャンネルを自動的に設定することができます。

1年以内にDVDのタイマー予約(**57**ページ)と合わせて、最大8つの予約ができます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- Gコードシステムで予約するためのチャンネル設定をしてください(別冊「1.接続・準備編」の「Gコード®予約のためのチャンネル設定」)。
- **便利な機能「ジャスト録画」について**
  ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えてできるだけ多く録画するように設定できます「ジャスト録画」(**117**ページ)。
- 録画用のディスクに空き時間があるか、ディスク情報(**35**ページ)で確認してください。
  VRモードのディスクは、タイトルを消去すると空き時間を増やすことができます(**102**ページ)。
- 1つのディスクにVRモードとビデオモードは混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化(**119**ページ)して記録フォーマットを変更してください。
- ビデオモードのディスクで二カ国語放送を録画するときは、音声の種類(主音声または副音声)を設定してください(**118**ページ)。

1 電源を押し、本機の電源を入れる

2 リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

- リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

3

① トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。

② トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます(**118**ページ)。
  しばらくお待ちください(約1分から1分30秒)。

次ページの手順へつづく

4 Gコードを押す

- リモコン表示部がGコード入力表示になります。

リモコン表示部

Gコード
-- -- -- --

5 数字ボタンでGコード番号を入力する

[例] Gコード番号1094を入力する
（①⓪⑨④）

Gコード
10 94

番号を間違えたときは

- Gコード修正ボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい数字を入力しなおします。

途中で設定を中止するときは

- Gコードボタンを押します。時刻表示に戻ります。

6 Gコード決定を押す

- 予約したチャンネルと日付が表示されます。

予約 10CH 4月 FINE

- ◀または▶を押して、予約内容(チャンネル、日付、開始時刻、終了時刻)を確認してください。
- 点滅している箇所は、▲または▼で修正することができます。

チャンネルが「ーー」表示で点滅しているときは(違うチャンネルが表示されたときは)

- リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコードシステムで予約するためのチャンネル設定をしてください(別冊「1.接続・準備編」の「Gコード®予約のためのチャンネル設定」)。

■毎週または毎日録画をしたいとき

毎週/毎日を押す

- 毎週・毎日決まった時間に予約録画をすることができます。
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→「毎週月…毎週日」→「月〜日(毎日)」→「月〜土」→「月〜金」→「当日」※→（最初に戻る）

※「当日」の表示は出ません。

7 録画モードをくり返し押し、録画モードを選ぶ

「FINE/SP/LP/EP」から選択します。

- ビデオモードでは、「EP」を選んでも「LP」で録画されます。

8 リモコンを本体のリモコン受光部に向け 送りを押す

- 本体DVD表示部に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順番に表示されます。本体DVD表示部に「⏲」が表示され、予約待機状態になります。

続けて他の番組を予約したいときは

- 手順**4**〜**8**をくり返します。(予約待機状態でも予約は受け付けます。)

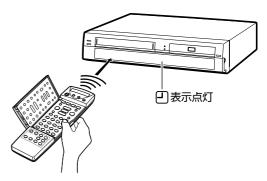
予約操作を終了するときは

- リモコンの扉を閉じます。リモコン表示部が時刻表示に戻ります。

9

- この後、本機を使用しないときは

電源を押し、本機の電源を切る

ヒント

- 予約待機にすると、DVD操作ができなくなります。
- すでにビデオ側が予約待機状態のときは、手順**8**の送信をした時点で、本機の電源が切れます。(この状態で再度電源を入れたいときは、次ページの「予約待機中にDVDを使いたいときは」の操作をしてください。)

ご注意

- Gコード予約録画中は、静止／一時停止⏸ボタンが働きません。
- 予約操作中、約1分間何も操作をしないと、リモコン表示部は時刻表示に戻ります。

次のような場合、送りボタンまたは予約入／切ボタンを押すと「⏲」表示が点滅します。

- セットしたディスクの空き容量がない。
- セットしたディスクが保護されている。
- ディスクが入っていない。
- 本体DVD表示部に「LOAD」と表示されている。

- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- リモコン表示部に「Error」が表示されたときは、もう一度Gコード番号を確認して正しい番号を入力しなおしてください。

次ページへつづく

DVDにGコード®システムで予約録画をする(つづき)

Gコード番号が9桁のときは

リモコン表示部は8桁表示のため、Gコード番号が9桁のときは、9桁目の数字は表示されますが、1桁目に入力した「0」の数字が表示部より消えます。

［例］Gコード番号が「012345678」のとき

0←……Gコード 12 34 56 78

予約録画実行中に録画を停止するときは

リモコンの操作モードを「DVD」にして、■停止ボタンを押します。予約待機状態が解除されます。他にも予約があるときは、予約入／切ボタンを押して予約待機状態にしてください。

予約待機中にDVDを使いたいときは

- リモコンの操作モードを「DVD」にして、予約入／切ボタンを押し、「⏲」表示を消します。つづいて電源を入れ、本機の操作をしてください。操作が終わったら、予約入／切ボタンを押し、「⏲」を表示させて予約待機状態に戻してください。
- DVDの予約待機中にビデオを操作することもできます。リモコンの操作モードを「ビデオ」にして操作してください。 使い終わったら、電源を切ってください。(DVD の予約録画実行中に使用するときは、出力切換も「ビデオ出力」にして操作してください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。)

予約内容の確認や修正・取り消しをしたいときは

76ページをご覧ください。

予約が重なったり連続しているときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは**59**ページをご覧ください。

本機の入力端子につないだ外部機器を使ってGコードシステムで予約をするときは

手順**6**の後、（▲）または（▼）で、外部機器を接続している外部チャンネル「L1」または「L2」を選び、決定ボタンを押します。

ディスク予約で録画する

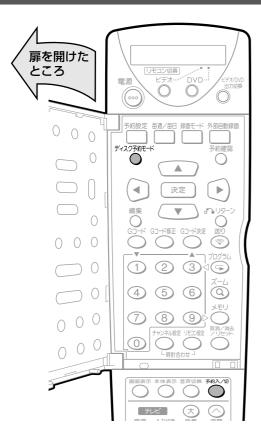
DVD-RW VRモード

■本機にではなく、ディスク自体に直接予約情報を設定することができます。毎週または毎日決まった番組を録画するときなど、専用ディスクとして予約録画をするのに便利です。

■ディスク1枚につき、「毎日予約」や「毎週予約」を含めた最大8つの予約ができます。ディスク予約と本体予約を同時に行うことはできません。

■ディスク予約用にVRモードで初期化済みのDVD-RWディスクを用意してください。ビデオモードではディスク予約ができません。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- **便利な機能「ジャスト録画」について**
  ディスクの空き時間不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えてできるだけ多く録画するように設定できます「**ジャスト録画**」(**117**ページ)。
- 録画用のディスクに空き時間があるか、ディスク情報(**35**ページ)で確認してください。
  VRモードのディスクは、タイトルを消去すると空き時間を増やすことができます(**102**ページ)。
- 1つのディスクにVRモードとビデオモードは混在できません。録画の前にVRモードでディスクを初期化(**119**ページ)して記録フォーマットを変更してください。

1 電源を押し、本機の電源を入れる

2 リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

- リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

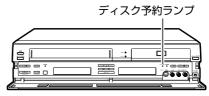
3 ① トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。

② トレイ開/閉 を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます(**118**ページ)。
  しばらくお待ちください(約1分から1分30秒)。
- ディスク予約が設定されているディスクをセットしたときは、本体のディスク予約ランプが点灯し、自動的にディスク予約モードになります。手順**5**へ進んでください。

4 ディスク予約モード を2秒以上押す

- 本体のディスク予約ランプが点灯し、ディスク予約モードになります。

5 「DVDにタイマー予約で録画する」(58ページ)の手順4～9、または「DVDにGコード®システムで予約録画をする」(61ページ)の手順4～8を行い、録画したい番組を予約する

- すでに予約がされているディスクのときは、手順**6**へ進んでください。

6 予約入/切 を押す

- 本体DVD表示部に「⏲」が表示され、予約待機状態になります。

7
- この後、本機を使用しないときは

電源 を押し、本機の電源を切る

予約録画実行中に録画を停止するときは

リモコンの操作モードを「DVD」にして、■停止ボタンを押します。予約待機状態が解除されます。他にも予約があるときは、予約入／切ボタンを押して予約待機状態にしてください。

予約待機中にDVDを使いたいときは

62ページをご覧ください。

ディスク予約モードを解除したいときは

64ページをご覧ください。

予約内容の確認や修正・取り消しをしたいときは

76ページをご覧ください。

予約が重なったり連続しているときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは**59**ページをご覧ください。

次ページへつづく

ディスク予約で録画する（つづき）

ディスク予約モードを解除するとき

ディスク予約モードを解除して本体予約を行いたい場合、次の手順の操作をしてください。（ディスク予約が終了しても、ディスク予約モードは解除されません。）

■ディスク予約情報が設定されているディスクをセットしていて、ディスク予約状態（ディスク予約ランプ点灯、予表示点灯）のとき

① 予約入/切 を押す

- 「予」表示が消えます。

② 本機の電源を入れる

③ すべてのディスク予約を取り消す

- 予約の取り消しについては、**76**ページをご覧ください。

④ ディスク予約モード を2秒以上押す

- ディスク予約ランプが消灯します。

■ディスク予約を設定していないディスクをセットしていて、ディスク予約モード（ディスク予約ランプのみ点灯）のとき

① ディスク予約モード を2秒以上押す

- ディスク予約ランプが消灯します。

ヒント

- ディスク予約を設定したディスクを取り出すと、自動的にディスク予約モードが解除されます。

ご注意

- ディスク予約録画中は、静止／一時停止❚❚ボタンが働きません。
- ディスク予約を設定したディスクをセットしているときは、本体予約ができません。ディスク予約を解除してください。

次のような場合、送りボタンまたは予約入／切ボタンを押すと「予」表示が点滅します。

- セットしたディスクの空き容量がない。
- セットしたディスクが保護されている。
- ディスクが入っていない。
- 本体DVD表示部に「LOAD」と表示されている。

他機でディスク予約を設定したディスクを本機にセットして、ディスク予約を実行する場合は、あらかじめ予約確認画面で予約内容を確認してください。

- 本機の録画モードは4種類なので、録画モードを確認してください。
- 本機に設定されていないチャンネルが予約チャンネルとしてディスク予約されている場合は、チャンネル表示が「－－」になります。このときは、予約は実行されません。

DVDにBS/CS放送の番組を自動で録画する(外部自動録画)

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■番組予約機能の付いたBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーと接続すると、チューナーの電源と連動させて予約した番組をDVDに録画することができます。

■チューナーは本機後面の入力1端子に接続してください(別冊「1.接続・準備編」の「BS/CSチューナーと接続する」)。予約録画開始時刻にチューナーからの信号に連動して本機の電源が入り、自動的に録画を始めます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- 録画用のディスクに空き時間があるか、ディスク情報(**35**ページ)で確認してください。
  VRモードのディスクは、タイトルを消去すると空き時間を増やすことができます(**102**ページ)。
- 1つのディスクにVRモードとビデオモードは混在できません。記録フォーマットを変えるには、録画の前にディスクを初期化(**119**ページ)して記録フォーマットを変更してください。

1 ① **テレビの電源を入れる**
② **テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする**

2 電源 **を押し、本機の電源を入れる**

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3 ビデオ/DVD出力切換 **を押し、「DVD出力」にする**

本体のDVD出力ランプが点灯(緑色)します。

- ボタンを押すたびに、「DVD出力」↔「ビデオ出力」と切り換わります。

4 **リモコン切換** DVD **を押し、操作モードを「DVD」にする**

- リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

次ページの手順へつづく

DVDにBS/CS放送の番組を自動で録画する(外部自動録画)(つづき)

5

① トレイ開/閉 **を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く**

- ラベル印刷面を上にして置きます。

② トレイ開/閉 **を押し、ディスクトレイを閉める**

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます(**118**ページ)。
  しばらくお待ちください(約1分から1分30秒)。

6

外部入力の音声を選ぶ

ステレオ放送を録画するときは

- 「録画初期設定」の「外部音声」を「ステレオ」に設定します(**118**ページ)。

二重音声(二カ国語)放送を録画するときは

- DVD-RW(VRモード)のディスクでは、「録画初期設定」の「外部音声」を「二カ国語」に設定します(**118**ページ)。
- DVD-RW(ビデオモード)/DVD-Rのディスクでは、「録画初期設定」の「ビデオモード音声」を「主音声」または「副音声」に設定します(**118**ページ)。

7

録画モード **をくり返し押し、録画モードを選ぶ**

「FINE/SP/LP/EP」から選択します。

VRモードのとき

「FINE」↔「SP」↔「LP」↔「EP」

ビデオモードのとき

「FINE」↔「SP」↔「LP」

8

■BS/CSチューナーの準備について

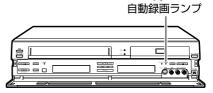
① **録画したい番組を予約する**

- 予約について詳しくは、BS/CSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

② **電源を「切」にする**

9

外部自動録画 **を2秒以上押す**

- 本体DVD側の自動録画ランプが点灯し、外部自動録画予約待機状態になります。

- 予約時刻になると、デジタルCS(BS)チューナーからの信号により、自動的に録画を開始/終了します。

10

- この後、本機を使用しないときは

電源 **を押し、本機の電源を切る**

※ビデオ側が録画中の場合は、電源を切らないでください。ビデオの録画が停止してしまいます。

外部自動録画中に録画を停止するときは

■停止ボタンを押して録画を止めます。
外部自動録画中に外部自動録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

外部自動録画予約待機状態を解除するときは

録画が始まる前に、外部自動録画ボタンを2秒以上押して、本体の自動録画ランプを消します。

ご注意

- 外部自動録画中は、静止/一時停止⏸ボタンが働きません。
- チューナーからの映像信号を確認してから本機の電源が入るため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- デジタルCS(BS)チューナーを前面の入力2端子に接続したときは、外部自動録画は働きません。
- 有料(PPV=ペイパービュー)番組などを録画するときは、必ずチューナー側で「録画(録る)」をするための設定をしてください。番組によっては、録画できない場合や録画のために追加料金のかかる場合があります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回録画可」のコピー制御信号が含まれている番組を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。
  詳しくは、「録画できない映像について」(**53**ページ)をご覧ください。
- 外部自動録画予約待機中は、ジャスト録画は働きません。
- 予約録画が実行された後に外部自動録画が始まる場合、予約録画で設定された録画モードで録画されます。

外部自動録画と本機の予約が重なったときは

本体予約やディスク予約の設定が優先されるため、次の□で示した部分は録画されません。

■外部自動録画の予約時間に本体予約やディスク予約が重なっているとき

本体予約やディスク予約が終わってから、外部自動録画が始まります。

- DVDでは外部自動録画中に予約録画が開始されるとき、予約録画に切り換わった時点でディスク情報を書き込むため、予約録画開始が最大で約1分程遅れます。

ヒント

- 本体予約やディスク予約の優先により、外部自動録画が保留されている間は、外部自動録画ランプが点滅します。

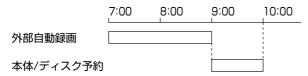
■予約開始が同じとき

本体予約やディスク予約が終わってから、外部自動録画が始まります。

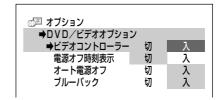
7:00　8:00　9:00　10:00

外部自動録画

本体/ディスク予約

■外部自動録画の終了時刻と本体予約やディスク予約の開始時刻が同じとき

チューナーに付属のビデオコントローラー(ビデオマウス)を使用するときは

■本機の設定について

オプション内、「DVD／ビデオオプション」の「ビデオコントローラー」を「入」に設定します(**121**ページ)。

- ビデオコントローラーを使用しない場合や、チューナーがビデオコントローラーに対応していない場合は、「ビデオコントローラー」の設定を「切」にしてください。(「切」の場合は、チューナーの電源入／切に連動して、録画を開始／終了します。)

録画するときは、**65**～**66**ページの操作手順**1**～**10**を行います。

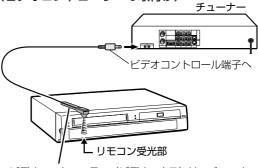
■ビデオコントローラー(ビデオマウス)について

チューナーの取扱説明書に従って、ビデオコントローラーの取付け・設定・確認をしてください。

① チューナー側でビデオコントローラーのメーカー設定を「シャープ」にする。

② ビデオコントローラーの動作テストをする。このとき、本機はビデオ側で外部自動録画されることを確認してください。(ビデオ側外部自動録画のしかた**74**～**75**ページ)

- チューナーによっては、メーカー設定の「シャープ」に設定が2つ以上ある場合があります。このときは順番にテストをして、外部自動録画が働くものを選んでください。

〈ビデオコントローラーの取付け〉

ビデオコントローラー（ビデオマウス）は、チューナーの取扱説明書に従って、本機のリモコン受光部の前方に取り付けます。

ヒント

- チューナーによっては、電源入／切のテストをできるものがあります。テストをする場合は、オプション内、「DVD／ビデオオプション」の「ビデオコントローラー」を「入」に設定します。つづいてビデオテープを挿入し、外部自動録画予約待機状態にしたうえで、テストをしてください。
また、本機は外部自動録画予約待機中にビデオコントローラーからの電源入／切信号を受信すると、録画一時停止状態になります。もう一度、電源入／切信号を受信すると予約待機状態に戻ります。

ご注意

- ビデオコントローラー(ビデオマウス)は、本機の付属品ではありません。

ビデオに録画する

ビデオテープ

ビデオにテレビ放送の番組を録画することができます。（ビデオとDVDで別々のチャンネルの番組を同時に録画することはできません。）

録画を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。（別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」）。
- テープの残量（**50**ページ）とツメの折れていないことを確認してください。

1 **① テレビの電源を入れる**
- オーディオ機器などをつないだ場合、それらの電源も入れてください。

② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力（「ビデオ」など）にする

2 電源 **を押し、本機の電源を入れる**
- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3 ビデオ/DVD出力切換 **を押し、「ビデオ出力」にする**

本体のビデオ出力ランプが点灯（オレンジ色）します。

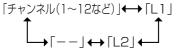
- ボタンを押すたびに「ビデオ出力」↔「DVD出力」と切り換わります。

4 **リモコン切換 ビデオ を押し、操作モードを「ビデオ」にする**
- リモコン表示部のビデオボタン線上にマークが表示されます。

5 **ビデオテープ挿入口に録画用のビデオテープを入れる**
- 本体ビデオ表示部に「 」が表示されます。

6 **選局 または 選局 を押し、録画したいチャンネルを選ぶ**
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

7 録画モード **を押し、録画モードを選ぶ**

「SP（標準）/EP（3倍）」から選択します。

次ページの手順へつづく

8 ●録画を押す

- テレビ画面に「●(録画マーク)」が表示され、録画が始まります。
- 録画を停止するまで、またはテープの残量がなくなるまで録画は続きます。テレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

録画を一時停止するときは

静止／一時停止⏸ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。
5分以上一時停止をすると、ビデオテープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

録画を停止するときは

■停止ボタンを押します。

ビデオテープを本体から取り出すときは

本体の⏏テープ取出しボタンを押します。

ビデオに録画中、他のテレビ番組を見るときは

テレビの入力切換を「テレビ」にし、テレビのチャンネルボタンで見たいチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画中にDVDを見るときは

再生するディスクをセットし、テレビの入力と本機の出力、リモコンの操作モードをDVD側に切り換え、再生をします。

録画中に終了時刻を設定するときは

56ページ(クイックタイマー)をご覧ください。

ヒント

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**6**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選びます。詳しくは、「他機をつないで行う操作」(**108**ページ)をご覧ください。
- ビデオテープが最後まで録画されると、自動的に巻戻しが始まります。巻戻しが終わると、テープが出てきます。(オートリワインド)
- ツメの折れたビデオテープには録画できません。●録画ボタンを押したとき、自動的に排出されます。(オートキャンセラー)

ビデオにタイマー予約で録画する

ビデオテープ

チャンネル、日付、時刻などを入力してビデオに予約録画をすることができます。1年以内にビデオのGコード予約(**72**ページ)と合わせて、最大8つの予約ができます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- **便利な機能「ジャスト録画」について**
  「SP(標準)」モード予約時、テープ残量不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えてできるだけ多く録画するように設定できます「ジャスト録画」(**117**ページ)。
- テープの残量(**50**ページ)とツメの折れていないことを確認してください。

録画・予約録画

ビデオにタイマー予約で録画する

次ページへつづく

ビデオにタイマー予約で録画する(つづき)

1 電源を押し、本機の電源を入れる

2 リモコン切換 ビデオ を押し、操作モードを「ビデオ」にする

- リモコン表示部のビデオボタン線上にマークが表示されます。

3 ビデオテープ挿入口に録画用のビデオテープを入れる

- 本体ビデオ表示部に「」が表示されます。

4 予約設定を押す

- リモコン表示部が予約設定表示になります。

リモコン表示部

5 ▲または▼で予約したいチャンネルを選ぶ

[例] 10チャンネルを選んだとき

- 本機の入力端子につないだ外部機器を使って予約をするときは、外部機器を接続している外部チャンネル「L1」または「L2」を選びます。
- 希望のチャンネルが表示できないときは、別冊「1.接続・準備編」の「予約時にリモコンに表示するチャンネルを設定する」でリモコンのチャンネルを設定してください。

6 ▶を押して「日付」に移動し、▲または▼で録画日を設定する

[例] 4月4日を選んだとき

■毎週または毎日録画をしたいとき

毎週/毎日を押す

- 日付ではなく、毎週・毎日決まった時間に予約録画をすることができます。
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→「毎週月…毎週日」→「月～日(毎日)」→「月～土」→「月～金」→「今日の日付」→

7

① ▶を押す

- 開始時刻表示に変わります。

② ▲または▼で開始時刻の「時」を選ぶ

[例] 開始時刻を午後7時30分にするとき

③ ▶を押して開始「分」に移動し、▲または▼で開始時刻の「分」を選ぶ

次ページの手順へつづく

④ ▶を押す

- 終了時刻表示に変わります。

⑤ ▲または▼で終了時刻の「時」を選ぶ

［例］終了時刻を午後8時にするとき

⑥ ▶を押して終了「分」に移動し、▲または▼で終了時刻の「分」を選ぶ

間違えたなど変更したいときは

- ◀を押して、変更したい項目まで点滅表示を戻します。

途中で設定を中止するときは

- 予約設定ボタンを押します。

8

録画モードを押し、録画モードを選ぶ

「SP（標準）/EP（3倍）」から選択します。

［例］SPを選んだとき

9

リモコンを本体のリモコン受光部に向け送りを押す

- 本体ビデオ表示部に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順番に表示されます。本体ビデオ表示部に「⏲」が表示され、予約待機状態になります。

続けて他の番組を予約したいときは

- 手順**4**～**9**をくり返します。（予約待機状態でも予約は受け付けます。）

予約操作を終了するときは

- 予約設定ボタンを押す、またはリモコンの扉を閉じます。

10

- この後、本機を使用しないときは

電源を押し、本機の電源を切る

予約録画実行中に録画を停止するときは

リモコンの操作モードを「ビデオ」にして、■停止ボタンを押します。予約待機状態が解除されます。他にも予約があるときは、予約入／切ボタンを押して予約待機状態にしてください。

予約待機中にビデオを使いたいときは

- リモコンの操作モードを「ビデオ」にして、予約入／切ボタンを押し、「⏲」表示を消します。つづいて電源を入れ、本機の操作をしてください。操作が終わったら、予約入／切ボタンを押し、「⏲」を表示させて予約待機状態に戻してください。
- ビデオの予約待機中にDVDを操作することもできます。リモコンの操作モードを「DVD」にして操作してください。 使い終わったら、電源を切ってください。（ビデオの予約録画実行中に使用するときは、出力切換も「DVD出力」にして操作してください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。）

予約内容の確認や修正・取り消しをしたいときは

76ページをご覧ください。

予約が重なったり連続しているときは

59ページをご覧ください。

ヒント

- 開始時刻が同じ予約を設定すると、古い予約が新しい予約に上書きされ、消去されます。
- 予約待機にすると、ビデオ操作ができなくなります。
- すでにDVD側が予約待機状態のときは、手順**9**の送信をした時点で、本機の電源が切れます。（この状態で再度電源を入れたいときは、「予約待機中にビデオを使いたいときは」の操作をしてください。）
- 「電源オフ時刻表示」が「切」に設定されていても、ビデオの予約待機中は現在時刻が表示されます。

ご注意

- タイマー予約録画中は、静止／一時停止⏸ボタンが働きません。
- テープが入っていない状態で、送りボタンまたは予約入／切ボタンを押すと「⏲」表示が点滅します。
- 1時間以上の停電の場合、予約は取り消されます。時計と予約を設定しなおしてください。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- 予約を送信したときビデオテープが自動的に出てくる場合は、ツメの折れたビデオテープが入っています。録画用のビデオテープと交換してください。

ビデオにGコード®システムで予約録画をする

ビデオテープ

新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されている番組予約番号(Gコード番号)を使う予約録画です。予約したい番組の日時、チャンネルを自動的に設定することができます。
1年以内にビデオのタイマー予約(**69**ページ)と合わせて、最大8つの予約ができます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- Gコードシステムで予約するためのチャンネル設定をしてください(別冊「1.接続・準備編」の「Gコード®予約のためのチャンネル設定」)。
- **便利な機能「ジャスト録画」について**
「SP(標準)」モード予約時、テープ残量不足で、予約した番組を録画しきれないとき、本機が自動的に録画モードを切り換えてできるだけ多く録画するように設定できます「ジャスト録画」(**117**ページ)。
- テープの残量(**50**ページ)とツメの折れていないことを確認してください。

1 電源 を押し、本機の電源を入れる

2 リモコン切換 ビデオ を押し、操作モードを「ビデオ」にする

- リモコン表示部のビデオボタン線上にマークが表示されます。

3 ビデオテープ挿入口に録画用のビデオテープを入れる

- 本体ビデオ表示部に「OO」が表示されます。

4 Gコード を押す

- リモコン表示部がGコード入力表示になります。

リモコン表示部

Gコード
-- -- -- --

次ページの手順へつづく

5 数字ボタンでGコード番号を入力する

[例] Gコード番号1094を入力する
(①⓪⑨④)

番号を間違えたときは

- Gコード修正ボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい数字を入力しなおします。

途中で設定を中止するときは

- Gコードボタンを押します。時刻表示に戻ります。

6 Gコード決定を押す

- 予約したチャンネルと日付が表示されます。

予約 10CH 4月 4日 SP

- ◀または▶を押して、予約内容(チャンネル、日付、開始時刻、終了時刻)を確認してください。
- 点滅している箇所は、▲または▼で修正することができます。

チャンネルが「－－」表示で点滅しているときは(違うチャンネルが表示されたときは)

- リモコンのチャンネル設定が合っていません。Gコードシステムで予約するためのチャンネル設定をしてください(別冊「1.接続・準備編」の「Gコード®予約のためのチャンネル設定」)。

■毎週または毎日録画をしたいとき

毎週/毎日を押す

- 毎週・毎日決まった時間に予約録画をすることができます。
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

→「毎週月…毎週日」→「月～日(毎日)」→「月～土」→「月～金」→「当日」※→

※「当日」の表示は出ません。

7 録画モードを押し、録画モードを選ぶ

「SP(標準)/EP(3倍)」から選択します。

8 リモコンを本体のリモコン受光部に向け送りを押す

- 本体ビデオ表示部に予約日付、開始時刻、終了時刻、チャンネルが順番に表示されます。本体ビデオ表示部に「⏲」が表示され、予約待機状態になります。

続けて他の番組を予約したいときは

- 手順**4**～**8**をくり返します。(予約待機状態でも予約は受け付けます。)

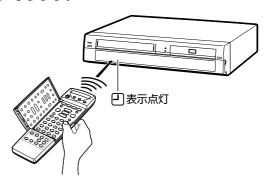
予約操作を終了するときは

- リモコンの扉を閉じます。リモコン表示部が時刻表示に戻ります。

9

- この後、本機を使用しないときは

電源を押し、本機の電源を切る

ヒント

- 予約待機にすると、ビデオ操作ができなくなります。
- すでにDVD側が予約待機状態のときは、手順**8**の送信をした時点で、本機の電源が切れます。(この状態で再度電源を入れたいときは、次ページの「予約待機中にビデオを使いたいときは」の操作をしてください。)
- 「電源オフ時刻表示」が「切」に設定されていても、ビデオの予約待機中は現在時刻が表示されます。

ご注意

- Gコード予約録画中は、静止／一時停止⏸ボタンが働きません。
- 予約操作中、約1分間何も操作をしないと、リモコン表示部は時刻表示に戻ります。
- テープが入っていない状態で、送りボタンまたは予約入／切ボタンを押すと「⏲」表示が点滅します。
- 開始時刻が過ぎている番組は正しく録画予約できません。
- リモコン表示部に「Error」が表示されたときは、もう一度Gコード番号を確認して正しい番号を入力しなおしてください。
- 予約を送信したときビデオテープが自動的に出てくる場合は、ツメの折れたビデオテープが入っています。録画用のビデオテープと交換してください。

次ページへつづく

ビデオにGコード®システムで予約録画をする(つづき)

Gコード番号が9桁のときは

リモコン表示部は8桁表示のため、Gコード番号が9桁のときは、9桁目の数字は表示されますが、1桁目に入力した「0」の数字が表示部より消えます。

［例］Gコード番号が「012345678」のとき

0←……Gコード 12 34 56 78

予約録画実行中に録画を停止するときは

リモコンの操作モードを「ビデオ」にして、■停止ボタンを押します。予約待機状態が解除されます。他にも予約があるときは、予約入／切ボタンを押して予約待機状態にしてください。

予約待機中にビデオを使いたいときは

- リモコンの操作モードを「ビデオ」にして、予約入／切ボタンを押し、「⏲」表示を消します。つづいて電源を入れ、本機の操作をしてください。操作が終わったら、予約入／切ボタンを押し、「⏲」を表示させて予約待機状態に戻してください。
- ビデオの予約待機中にDVDを操作することもできます。リモコンの操作モードを「DVD」にして操作してください。 使い終わったら、電源を切ってください。(ビデオの予約録画実行中に使用するときは、出力切換も 「DVD出力」 にして操作してください。使い終わったら、一度電源ボタンを押してください。)

予約内容の確認や修正・取り消しをしたいときは

76ページをご覧ください。

予約が重なったり連続しているときは

59ページをご覧ください。

本機の入力端子につないだ外部機器を使ってGコードシステムで予約をするときは

手順**6**の後、▲または▼で、外部機器を接続している外部チャンネル「L1」または「L2」を選び、決定ボタンを押します。

ビデオにBS/CS放送の番組を自動で録画する(外部自動録画)

ビデオ テープ

■番組予約機能の付いたBSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーと接続すると、チューナーの電源と連動させて予約した番組をビデオに録画することができます。

■チューナーは本機後面の入力1端子に接続してください(別冊「1.接続・準備編」の「BS/CSチューナーと接続する」)。予約録画開始時刻にチューナーからの信号に連動して本機の電源が入り、自動的に録画を始めます。

予約を始める前に

- 本体とリモコンの時計とチャンネルを合わせてください。(別冊「1.接続・準備編」の「時計を合わせる」、「チャンネル設定をする」)。
- テープの残量(**50**ページ)とツメの折れていないことを確認してください。

1

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

電源 を押し､本機の電源を入れる

- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3

ビデオ/DVD出力切換 を押し､「ビデオ出力」にする

本体のビデオ出力ランプが点灯(オレンジ色)します。

- ボタンを押すたびに「ビデオ出力」↔「DVD出力」と切り換わります。

4

リモコン切換 ビデオ を押し､操作モードを「ビデオ」にする

- リモコン表示部のビデオボタン線上に▯マークが表示されます。

5

ビデオテープ挿入口に録画用のビデオテープを入れる

- 本体ビデオ表示部に「▭」が表示されます。

6

録画モード を押し､録画モードを選ぶ

「SP(標準)/EP(3倍)」から選択します。

7

■BS/CSチューナーの準備について

① 録画したい番組を予約する

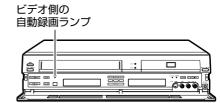
- 予約について詳しくは、BS/CSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

② 電源を「切」にする

8

外部自動録画 を2秒以上押す

- 本体ビデオ側の自動録画ランプが点灯し、外部自動録画予約待機状態になります。

ビデオ側の自動録画ランプ

- 予約時刻になると、デジタルCS(BS)チューナーからの信号により、自動的に録画を開始／終了します。

9

- この後、本機を使用しないときは

電源 を押し､本機の電源を切る

※DVD側が録画中の場合は、電源を切らないでください。DVDの録画が停止してしまいます。

外部自動録画中に録画を停止するときは

■停止ボタンを押して録画を止めます。
外部自動録画中に外部自動録画ボタンを2秒以上押すと、通常の録画状態になります。

外部自動録画予約待機状態を解除するときは

録画が始まる前に、外部自動録画ボタンを2秒以上押して、本体の自動録画ランプを消します。

外部自動録画と本機の予約が重なったときは

67ページをご覧ください。

チューナーに付属のビデオコントローラー(ビデオマウス)を使用するときは

67ページをご覧ください。

ヒント

- 本体予約の優先により、外部自動録画が保留されている間は、外部自動録画ランプが点滅します。

ご注意

- 外部自動録画中は、静止／一時停止⏸ボタンが働きません。
- チューナーからの映像信号を確認してから本機の電源が入るため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- デジタルCS(BS)チューナーを前面の入力2端子に接続したときは、外部自動録画は働きません。
- 有料(PPV=ペイパービュー)番組などを録画するときは、必ずチューナー側で「録画(録る)」をするための設定をしてください。番組によっては、録画できない場合や録画のために追加料金のかかる場合があります。
- 外部自動録画予約待機中は、ジャスト録画は働きません。
- 予約録画が実行された後に外部自動録画が始まる場合、予約録画で設定された録画モードで録画されます。

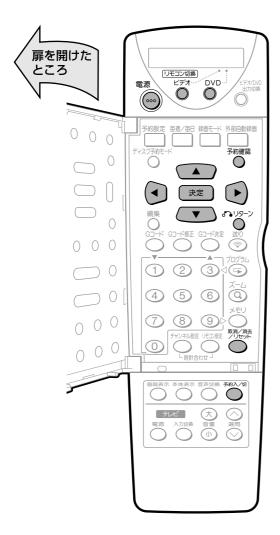
予約内容の確認や修正・取り消しをする

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　ビデオテープ

予約した内容をテレビ画面で確認したり、予約を修正・取り消したりすることができます。

1

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

電源を押し、本機の電源を入れる

- DVDとビデオの両方を予約待機状態にしているときは、予約入／切ボタンを押して、DVDかビデオどちらかの「⏲」表示を消してから電源を入れてください。
- 外部自動録画を「入」にしているときは、これも「切」にして電源を入れてください。

3

■予約内容を確認するときは

予約確認を押す

- DVDの予約確認画面が表示されます。

- 2ページ目がある場合は、▼を押して「▼次ページ」に合わせると表示されます。

ビデオの予約内容を確認するときは、◀または▶を押す。

- ビデオの予約確認画面に切り換わります。

4

■予約を修正したいときは

① ◀または▶で、予約を修正したい側(DVDまたはビデオ)の予約確認画面にする

② 予約確認画面に合わせてリモコン切換 ビデオ または DVD を押し、操作モードを切り換える

（DVDの表示例）

③ 予約入／切を押し、「⏲」表示を消灯する(予約待機解除)

- 手順2のときに「⏲」表示を消している場合は、この操作は必要ありません。

④ ▲または▼で修正したい予約を選び、決定を押す

⑤ ◀または▶で、修正したい項目を選び、▲または▼で内容を修正して決定を押す

（画面例）

次ページの手順へつづく

■予約を取り消したいときは

① ◀または▶で、予約を取り消したい側(DVDまたはビデオ)の予約確認画面にする

② 予約確認画面に合わせてリモコン切換 ビデオ または DVD を押し、操作モードを切り換える

③ 予約入/切 を押し、「⏲」表示を消灯する(予約待機解除)

● 手順2のときに「⏲」表示を消している場合は、この操作は必要ありません。

④ ▲または▼で取り消したい予約を選び、取消/消去/リセット を押す

● 選んだ予約が取り消されます。

5 リターン を押す

● 予約内容確認画面が消えます。

予約を確認、修正・取り消しした後、他にも予約があるときは

予約のある側(DVDまたはビデオ)のリモコン操作モードに切り換えてから、予約入/切ボタンを押し、予約待機状態(「⏲」を表示)にしてください。

ヒント

- ディスク予約モード時は、ディスク予約の内容が表示されます。
- ビデオ側の予約は、開始時刻の早い順に自動的に並べかえて表示されます。
  DVD側の予約は、予約をした順に表示されます。

予約確認画面からも、次の手順で予約設定することができます。

① ▲または▼で予約のない段を選び、決定ボタンを押す
② ▲または▼で録画日を設定する
③ ▶を押し、次の項目へ移動する
④ 手順②、③と同じ操作で入力項目すべてを設定し、決定ボタンを押す
⑤ リターンボタンを押した後、予約入/切ボタンを押して予約待機状態にする

予約録画のこんなときは

次のような場合は、予約録画ができません。エラー内容を確認して正しく予約してください。

⏲表示が点滅して予約ができない

■ ディスクが入っていない。

本体DVD表示 NO DISC

■ 録画できないディスクが入っている。

■ ディスクの空き容量がない。

本体DVD表示 DISC FULL

■ ディスクが判別されていない。

→ ● 録画用ディスクをセットし、ディスクの判別が終了してから予約入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。
● 録画用ディスクがすでにセットされているときは、一度電源を入れ、ディスク判別が終了してから予約入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。

■ ディスクが保護されている。

→ ● ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクをセットしてから予約待機状態にしてください。

■ ビデオテープが入っていない。またはツメの折れているビデオテープが入っている。

→ ● 録画用ビデオテープを入れてから、予約入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。

■ ビデオが動作しているときに予約内容を送信したり、予約入/切ボタンを押した。

→ ● 停止したあと録画用ビデオテープを入れ、予約入/切ボタンを押し、予約待機状態にしてください。

正しく予約されると、⏲表示が点灯します。

設定、状態により予約ができない

■ 予約がいっぱいのとき。

本体DVD/ビデオ表示 FULL

→ ● 予約を取り消してから、再度予約してください。

■ 時計が合っていない。

本体DVD/ビデオ表示 ERROR

→ ● 時計合わせを行ってから、再度予約してください。

■ 本体に設定されていないチャンネルが設定されている。

本体DVD/ビデオ表示 ERROR

→ ● 予約したチャンネルを確認してください。

■ 予約録画中は予約ができない。

→ ● 予約録画が終了してから予約してください。

■ Gコード番号が誤っている。(リモコン表示部にエラー表示)

→ ● 正しいGコード番号を入力してください。

正しく予約されると、⏲表示が点灯します。